

大分県地域リハビリテーション

令和6年度

活動報告書

大分県リハビリテーション支援センター

独立行政法人 地域医療機能推進機構

湯布院病院

目 次

○ご挨拶	1
○大分県における支援体制	
1. 大分県における地域リハビリテーション支援体制	2
・大分県リハビリテーション支援センター運営部運営規程	
2. 県下関係機関との連携	5
・三者会議運用規程、拡大運営会議運用規程、イメージ図	
○大分県リハビリテーション支援センター活動報告および地域リハビリテーション関連活動報告	
1. 令和6年度大分県リハビリテーション支援センター事業報告	8
2. 大分災害リハビリテーション推進協議会（大分 JRAT） 令和6年度 事業報告	16
3. おおいた食のリハビリテーション研究会活動報告	19
○大分県地域リハビリテーション広域支援センター活動報告	
・ 東部圏域 東国東地域	22
・ 東部圏域 別杵速見地域	23
・ 中部圏域 大分地域	25
・ 中部圏域 臼津地域	27
・ 南部圏域 佐伯地域	30
・ 豊肥圏域 大野地域	32
・ 豊肥圏域 竹田地域	33
・ 西部圏域 日田玖珠地域	34
・ 北部圏域 中津地域	35
・ 北部圏域 宇佐高田地域	36

○県内地域リハビリテーション専門職能団体（拡大運営会議構成団体）活動報告（五十音順）

・一般社団法人 大分県医療ソーシャルワーカー協会	40
・公益社団法人 大分県栄養士会	42
・特定非営利活動法人 大分県介護支援専門員協会	44
・一般社団法人 大分県介護福祉士会	46
・公益社団法人 大分県看護協会	49
・公益社団法人 大分県言語聴覚士協会	51
・一般社団法人 大分県公認心理師協会（大分県臨床心理士会）	53
・公益社団法人 大分県作業療法協会	55
・一般社団法人 大分県歯科医師会	58
・一般社団法人 大分県歯科衛生士会	60
・大分県視能訓練士会	62
・大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会	64
・大分県地域リハビリテーション研究会	65
・一般社団法人 大分県病院協会	67
・公益社団法人 大分県放射線技師会	69
・公益社団法人 大分県薬剤師会	72
・公益社団法人 大分県理学療法士協会	74
・公益社団法人 大分県臨床検査技師会	76
・公益社団法人 大分県臨床工学技士会	78

連絡先一覧

1. 県リハセンター、広域支援センター所在地・連絡先	81
2. 県内地域リハビリテーション専門職能団体（拡大運営会議構成団体）連絡先	82

ご挨拶

大分県リハビリテーション支援センター長
(独立行政法人地域医療機能推進機構 湯布院病院院長) 針 秀 太

新型コロナウイルス感染症の流行は断続的に続いておりますが、当センターが主催する研修会や各種事業において、昨年度に引き続き多くを対面で開催することができ、より活発な交流や学びの機会を共有できるようになりました。ご参加いただいた皆様、ならびに関係者の皆様に心より御礼申し上げます。今後も時代の変化に柔軟に対応しつつ、地域のリハビリテーションにかかわる研修会や支援活動を進めてまいります。

ところで令和1年度の大分県の健康寿命は、47都道府県中男性は1位、女性は4位と男女ともに上位でした。以前より力を入れていた、健康教室等の各種イベントの開催と参加の推奨、得られた情報の公開やその利用法の提案など、様々な取り組みをおこなってきた結果だと思っています。しかし、令和4年度は男性25位、女性10位と残念ながら以前の順位を落としてしまいました。このことより今後は、これらの取り組みを継続するだけでなく、もう一段ギアを上げ何か新しい取り組みが必要ではないかと感じています。そして、大分県の掲げる「健康寿命日本一」を目指し、地域の実状に応じた支援を行う所存です。

また近年、全国各地で大規模な自然災害が発生し、今後南海トラフ巨大地震発生も懸念されています。自然災害への備えは依然として重要な課題です。昨年、能登半島地震に際し、大分JRATとして情報収集や人員派遣などの支援事業を行い、多くの皆様からご協力をいただきました。本年はその経験を踏まえ、災害時におけるリハビリテーション支援の在り方を検証し、南海トラフ地震をはじめとする大規模災害に備えた体制強化を進めていきます。平時からの当病院—行政・各病院 連携・協力が有事の際のすばやい、強力な力となることを意識し、その知見を広く共有できるよう、講演会やWEB会議などを設けてまいります。

最後になりますが、日頃よりご支援を賜っております大分県福祉保健部県民健康増進課・高齢者福祉課、広域支援センター、各職能団体の皆様には、この場をかりて厚く御礼申し上げます。今後も引き続き、地域住民の皆様が住み慣れた地域で長く健康に暮らせるため、リハビリテーション活動を推進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

JCHO湯布院病院
大分県リハビリテーション支援センター
運 営 規 程

(目 的)

第1条 大分県リハビリテーション支援センター（以下 県リハセンター）は、大分県、広域支援センター、諸職能団体と緊密に連携をとりながら、障害のある人や高齢者、さらには県民一人一人が地域で安心して生き生きとした生活が送れるように、地域リハビリテーション活動の体制整備と充実を図ること、また、災害時のリハビリテーション支援体制づくりにも取り組むこと、を目的に設置する。

(組 織)

第2条 県リハセンター長（以下 センター長）は県リハセンターの事業全般を統括・指揮する。

2 県リハセンターの円滑な事業運営を図るために、県リハセンターに企画調整室、県リハセンター運営部（以下 運営部）を設置する。また、大分災害リハビリテーション推進協議会（以下 大分J R A T）の事務局として大分J R A T事務局を設置する。

3 地域の介護予防・日常生活支援総合事業に協力するため介護予防推進活動班を別に設け、県リハ事業と密接な連携を図る。

(企画調整室)

第3条 企画調整室は医局、看護部、リハビリテーション科、地域連携室、事務部からセンター長が指名する職員をもって構成し、事業計画の策定、事業内容の企画・調整、調査・研究等を担当する。計画の策定にあたっては、大分県、大分県地域リハビリテーション研究会、広域支援センター、必要に応じて関連する諸団体との連絡、連携を図る。

(運営部)

第4条 運営部はセンター長が指名する職員をもって構成し、企画調整室で策定された事業計画の実施にあたるほか、県リハセンターの窓口として、関係機関、団体との連絡、調整等を行う。また、県リハセンターの経理を担当する。

2 センター長は運営部に運営部長を任命し、運営部長は運営部を管理、運営する。

3 センター長は必要に応じ、運営部に副運営部長、運営部長補佐、センター事務長を任命できる。

4 運営部には会議を担当する会議企画班、研修会を担当する研修班、J R A Tの支援を行う災害リハビリ支援班、関係機関、団体との連絡、調整及び県リハセンターの経理を担当する庶務班を置く。

(大分J R A T事務局)

第5条 大分J R A T事務局は、災害リハビリテーションの教育、普及、啓発および災害リハビリテーションコーディネーターや支援チームの組織化、訓練、人材育成、D M A TやJ M A T等との連携、そして大分県および全国規模の災害時における直接的支援活動等の事務局業務を担う。

2 センター長は大分J R A T事務局に事務局長を任命し、事務局長は大分J R A T事務局を管理、運営する。

3 センター長は必要に応じ、大分J R A T事務局に事務局長補佐を任命できる。

(協力部門)

第6条 センターに所属する医師、看護師、薬剤師、リハビリテーションセラピスト、医療福祉相談員、

管理栄養士、検査技師、臨床心理士、歯科衛生士、介護福祉士、事務員等は、センター事業の円滑な実施が図られるよう積極的な事業協力を行う。

(任期)

第7条 企画調整室、運営部、大分J R A T事務局職員の任期は原則として1年とする。ただし、任期満了の1ヵ月前までにセンター長もしくは職員から何らかの意思表示がないときは、任期を1年毎に延長するものとする。

(運営委員会)

第8条 県リハセンターの円滑な運営を図るため、運営委員会を置く。

- 2 運営委員会はセンター長、企画調整室、運営部で構成され、運営部長を議長とする。
- 3 運営部長不在時には副運営部長もしくは運営部長補佐が議長を代行する。
- 4 議長は原則として毎月1回定例の運営委員会を開催し、次の事項を審議する。
 - ア 事業計画、事業予算の検討、策定
 - イ 事業内容の検討、実施
 - ウ 研修計画の検討、実施
 - エ 関係機関、団体との連絡調整
 - オ 事業報告、事業決算
 - カ その他必要な事項
- 5 議長は必要に応じて臨時に運営委員会を開催できるものとする。
- 6 議長は必要に応じて運営委員会に、協力部門等に所属する職員の出席を要請し、意見を聞くことができるものとする。

(三者会議)

第9条 県下における地域リハビリテーション支援体制事業を、大分県・県リハセンターおよび広域支援センターの三者が協調し地域の実情を踏まえバランス良く展開するための協議機関として大分県・県リハセンター・広域支援センター合同会議（略称：三者会議）を設置する。

- 2 会議の構成は以下の通りとする。
 - 1) 大分県健康づくり支援課：代表者若干名
 - 2) 県リハセンター：センター長、運営部長、事務長、企画調整室、運営部員
 - 3) 広域支援センター：各センター代表者1名（希望があれば同伴者2名以内可能とする）
- 3 会議の開催は原則年2回とする。
- 4 会議には議長及び副議長を置く。議長は県リハセンター長が務め、副議長は県リハセンター運営部長が務める。
- 5 副議長は、議長を補佐し、議長不在時はその職務を代行する。

(拡大運営会議)

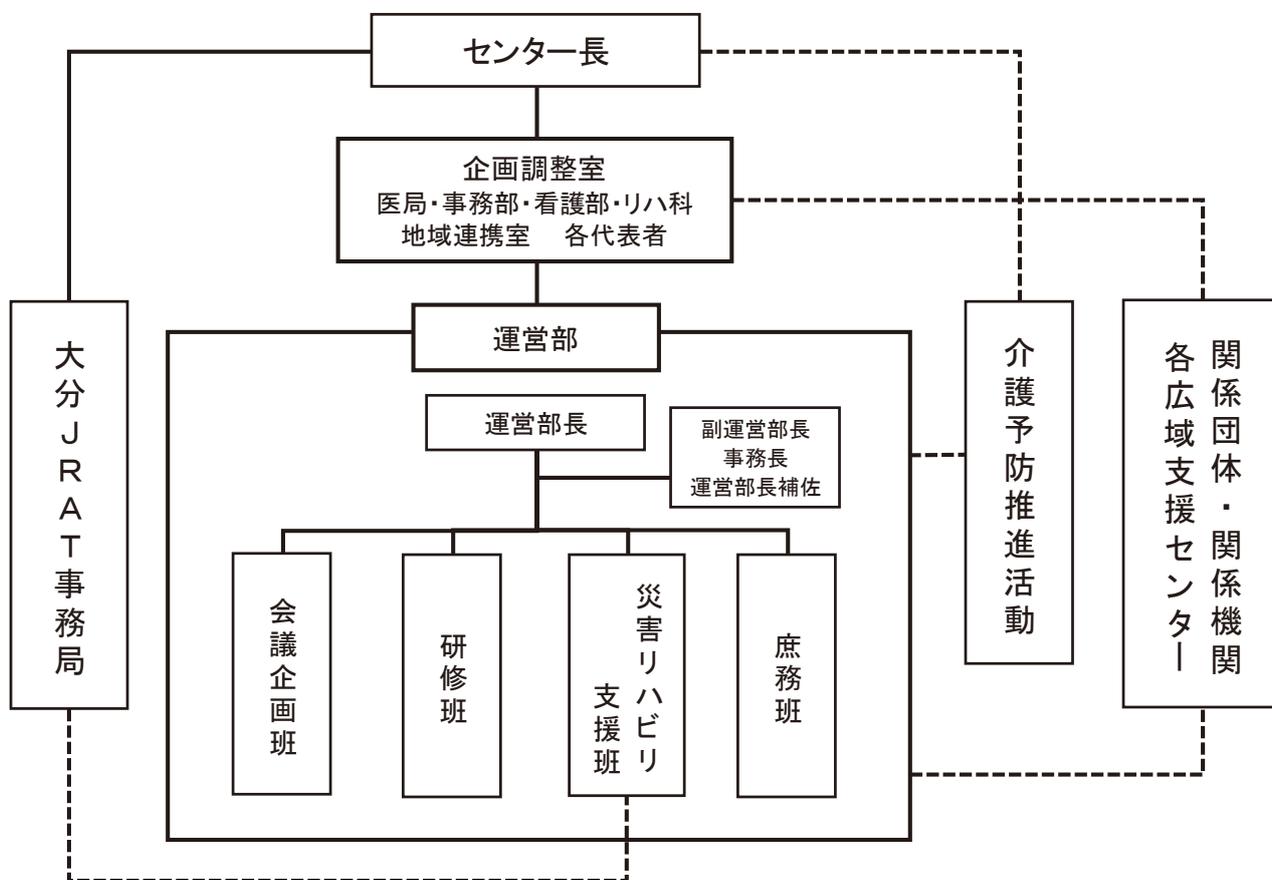
第10条 県リハセンターの事業立案に向けた情報収集、並びに事業の円滑な運営に向け、県内の保健・医療・福祉分野における専門職能団体間の緊密な協力と調整を図ることを目的に、県リハセンター拡大運営会議（略称：拡大運営会議）を設置する。

- 2 会議の構成は以下の通りとする。
 - 1) 大分県健康づくり支援課：代表者若干名
 - 2) 県リハセンター：センター長、運営部長、事務長、企画調整室、運営部員

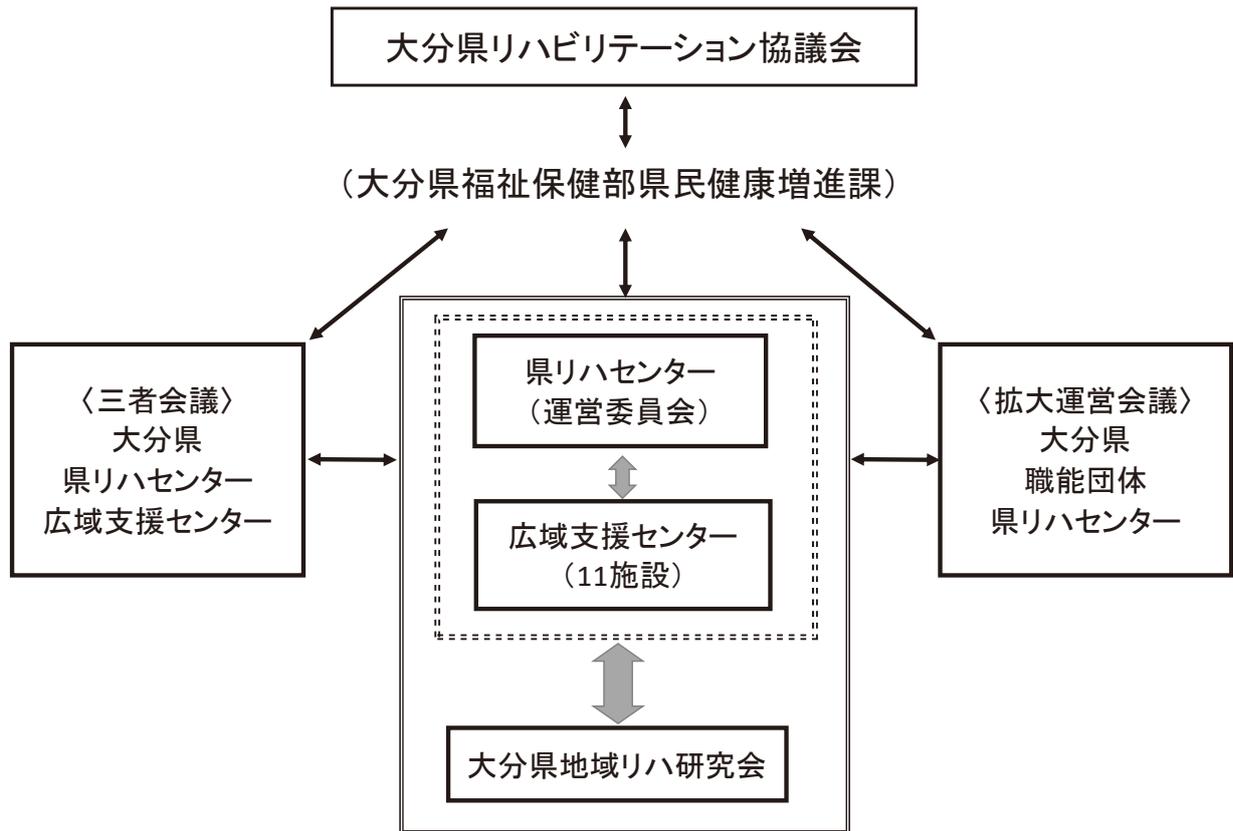
- 3) 必要と認める各種団体の代表者（各種団体については別に定める）。
- 3 会議の開催は原則年1回とする。
- 4 会議には議長及び副議長を置く。議長は県リハセンター長が務め、副議長は県リハセンター運営部長が務める。
- 5 副議長は、議長を補佐し、議長不在時はその職務を代行する。

- 附 則 この運用規程は平成15年4月1日から施行する。
- 附 則 この運用規定は平成15年6月4日改訂し施行する。
- 附 則 この運用規定は平成15年11月12日改訂し施行する。
- 附 則 この運用規程は平成26年4月1日に病院経営母体の移行に伴う名称の変更を行なう。
- 附 則 この運用規定は平成28年4月1日より大分県リハビリテーション支援センター業務の委託料一元化にともない、三者会議の位置づけの変更を行う。
- 附 則 この運営規程は平成30年2月27日大分県リハビリテーション協議会にて承認され4月1日改訂し施行する。

大分県リハビリテーション支援センター 組織図



三者会議・拡大運営会議の位置づけ



広域支援センター（11施設） (令和7年3月31日現在)

国東市民病院
 別府リハビリテーションセンター
 井野辺病院
 大分リハビリテーション病院
 臼杵市医師会立コスモス病院
 長門記念病院
 帰巖会みえ病院
 大久保病院
 済生会日田病院
 川鳶整形外科病院
 佐藤第一病院

県リハセンター拡大運営会議 参加団体（20）名簿（令和7年3月31日現在）

大分県医療ソーシャルワーカー協会
 大分県栄養士会
 大分県介護支援専門員協会
 大分県介護福祉士会
 大分県看護協会
 大分県言語聴覚士協会
 大分県作業療法協会
 大分県歯科医師会
 大分県歯科衛生士会
 大分県視能訓練士会
 大分県地域包括・総合相談・
 在宅介護支援センター協議会
 大分県地域リハビリテーション医師懇話会
 大分県地域リハビリテーション研究会
 大分県病院協会
 大分県放射線技師会
 大分県薬剤師会
 大分県理学療法士協会
 大分県臨床検査技師会
 大分県臨床工学技士会
 大分県臨床心理士会

五十音順



広域支援センター

佐藤第一病院(藤原)
宇佐市法鏡寺77-1
TEL:0978(32)2110

川島整形外科病院(杉木)
中津市宮夫14-1
TEL:0979(24)0464

国東市民病院(中村)
国東市安岐町下原1456番地
TEL:0978(67)1211

別府リハビリテーションセンター(福澤)
別府市大字鶴見字中山田1026-10
TEL:0977(67)1711

井野辺病院(佐藤)
大分市大字中尾字平255番地
TEL:097(586)5522

大分リハビリテーション病院(保田)
大分市志村字谷ヶ迫765番地
TEL:097(503)5000

大分県済生会日田病院(諫山・三木)
日田市大字三和643-7
TEL:0973(24)1100

大久保病院(皆川)
竹田市久住町大字栢木6026-2
TEL:0974(64)7777

社会医療法人帰巖会みえ病院(石丸)
豊後大野市三重町赤嶺1250番地1
TEL:0974(22)2222

**臼杵市医師会立
コスモス病院(安藤)**
臼杵市大字戸室字長谷1131-1
TEL:0972(62)5599

長門記念病院(土谷)
佐伯市鶴岡町 1-11-59
TEL:0972(24)3000

※()内は連絡担当窓口

令和7年3月31日現在

JCHO 湯布院病院 <http://yufuin.jcho.go.jp>

大分県リハビリテーション支援センター運営部 (佐藤^(友)・迫頭・吉村)

〒879-5193 大分県由布市湯布院町川南252

令和7年3月31日現在

TEL : 0977(84)3171 (代表)

大分県リハビリテーション支援センター活動報告 および地域リハビリテーション関連活動報告

<記載項目>

1. 令和6年度大分県リハビリテーション
支援センター事業報告
2. 大分災害リハビリテーション推進協議会
(大分 JRAT) 令和6年度 事業報告
3. おおいた食のリハビリテーション研究会活動報告

1. 令和6年度大分県リハビリテーション支援センター事業報告

(1) 地域リハビリテーション広域支援センター等への支援

1. リハビリテーション技術の研修

第21回大分県リハビリテーション支援センター・

大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

実施日：令和6年8月3日（土）13：00 受付 13：30～16：30

全体テーマ：災害とリハビリテーション：地域のレジリエンス（回復力）を高めるために

1) 大分県の取り組み報告

報告者：大分県高齢者福祉課

2) セッション1：災害リハビリテーションの課題と展望

～令和6年能登半島地震でのJRAT活動より～

講師：栗原正紀氏

（一社）是真会 理事長

（一社）日本災害リハビリテーション支援協会 会長



栗原 正紀氏



3) セッション2：大分県内発災時のレジリエンスを高めるために、今できること

講師：

報告①大分県災害医療コーディネーター

大分大学医学部附属病院 副病院長 医療情報部 教授 下村 剛氏

報告②日本医師会災害医療チーム（JMAT）

三愛訪問看護ステーション 看護師 銭花洋子氏

報告③大分県薬剤師会

常務理事 伊藤裕子氏

報告④大分災害リハビリテーション推進協議会（大分JRAT）

佐藤第一病院 理学療法士 中 翔一郎氏

報告⑤大分県福祉保健部健康政策・感染症対策課

課長 池邊淑子氏

座長：大分県地域リハビリテーション研究会 運営部長 井野邊純一氏

会 場：大分県消費生活男女共同参画プラザアイネス大会議室とオンラインのハイブリッド

対 象：リハビリテーション関係者

参加者数：会場 66 名 オンライン 23 名 計 89 名



下村 剛氏



銭花 洋子氏



伊藤 裕子氏



中 翔一郎氏



池邊 淑子氏



5名の報告の後、壇上にて総合討論を行った。特に、発災直後の対応と支援チームの参集方法等について議論が交わされた。

2. 令和6年度 第15回大分 JRAT 災害リハビリテーション研修会

実施日：令和6年7月5日（金）19：00～21：00（18：30入室）

研修内容：令和6年能登半島地震 活動報告会

内容・報告者：

1) 大分 JRAT の活動概要とロジスティクス報告

日隈武治氏 大分県作業療法協会 副会長

2) 現地直接支援報告

能登町・輪島市：高橋隆一氏 中村病院 大分県理学療法士協会 副会長

珠洲市：山本周平 湯布院病院 言語聴覚士

3) 石川 JRAT 災害対策本部でのロジスティクス報告

高嶋一慶 湯布院病院 理学療法士

会場：オンライン

対象：大分 JRAT 活動支援員登録者及び災害時リハ支援に興味があるリハ関連職種

参加者数：61名

3. 令和6年度 第16回大分 JRAT 災害リハビリテーション研修 災害時本部運営研修

実施日：令和6年12月14日（土）13：15受付開始 13：30～17：30

研修内容：災害医療の基礎と災害リハビリテーション支援時の本部運営を学ぶ

講師：高嶋一慶氏 湯布院病院 理学療法士

会場：コンパルホール 305 会議室

対象：大分 JRAT 活動支援員 広域支援センター災害リハ担当者

災害時リハ支援に興味があるリハ関連職種

参加者数：24人

4. 令和6年度地域リハビリテーション研究会 研修会（大分県リハビリテーション支援センター共催）

テーマ：大規模災害時における大分県の取り組み～医療従事者の立場から～

実施日：令和7年3月9日（日）9：30～12：10

講師：講演1. 大分大学医学部附属病院災害マネジメント総合支援センター
センター長 下村 剛氏

講演2. 公益社団法人 大分県看護協会
第二副会長 加来理香氏

講演3. 公益社団法人 大分県薬剤師会
災害対策委員会 委員長 谷池仁志氏

会場：大分県消費生活男女共同参画プラザ アイネス 大会議室 とオンラインによるハイブリッド

対象：地域リハビリテーション関係者

参加者数：会場 53名 オンライン 28名 計 81名

(2) 新たなリハビリテーション技術の研修等

1) 地域リハ実践研修①

テーマ：簡単にできる適塩食の伝え方

講師：濱田美紀氏 森邊美加氏 介護保険総合福祉センター メルヘン 管理栄養士

日時：令和6年11月16日（土）14：00～16：00

会場：大分県介護研修センター 調理室

対 象：地域リハビリテーション関係者

参加者数：11名



濱田氏より適塩食やたんぱく質の取り方についてご講演をいただきました



対象者に説明するつもりで調理



メニュー：豆乳団子汁 おからサラダ 揚げピザオートミールおはぎ
高たんぱくで塩分控えめ。それなのに美味しい！を体感できました

2) 地域リハ実践研修②

テーマ：停止車両による自動車運転技能評価

—対象者の“納得”につながる支援スキルを学ぼう—

講 師：岩佐英志 有限会社マーキュリー 作業療法士

甲斐美奈子 平田東九州病院 作業療法士

日 時：令和7年2月15日（土）10：00～15：00

会 場：湯布院病院 会議室、駐車場

対 象：地域リハビリテーション関係者

参加者数：17名



講師の岩佐氏



視空間認知の評価中



運転シミュレーターがなくてもできるアクセルブレーキ操作の評価



車両感覚を評価中
左前方はつかみにくい



施設を越えて、停止車両でできる運転技能評価法を学ぶ機会になりました。

- 3) 令和6年度 地域リハ広域支援センター主催地域リハビリテーション研修会
- i) 東部圏域別杵速見地域リハ広域支援センター
- 日 時：令和6年10月23日（水）18：30～19：30
- 内 容：骨折と栄養
- 講 師：伊東祐輔氏 別府リハビリテーションセンター 理学療法士
- 開催方法：Zoomによるオンライン研修
- 参加者数：30名
- 日 時：令和6年11月27日（水）18：30～19：30
- 内 容：認知症者への理解と対応
- 講 師：菅 真理氏 別府リハビリテーションセンター 看護師
- 開催方法：Zoomによるオンライン研修
- 参加者数：32名
- ii) 中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター 研修会
- テーマ1：「回復期リハビリテーションのあるべき姿」
～令和6年度診療報酬改定から見えてきたこと～
- 期 日：令和6年10月19日（土）
- 講 師：初台リハビリテーション病院 院長 菅原英和 先生
- 場 所：大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス
- 参加者：66名
- テーマ2：在宅分野における訪問栄養食事指導の取り組みや、症例事例を通しての
学び
- 期 日：令和6年11月16日（土）
- 講 師：廣瀬明子氏 ヒカリノ診療所 管理栄養士
- 場 所：大分リハビリテーション病院+WEB配信
- 参加者：50名前後（対面20名、WEB30名）
- iii) 中部圏域臼津地域リハ広域支援センター 研修会
- テーマ「地域で支えるパーキンソン病」
- 日 時：令和7年2月27日（木） 19：00～20：30
- 講 師：安高拓弥氏 臼杵市医師会立コスモス病院 神経内科
- 場 所：Web開催
- 参加者数：74名
- iv) 豊肥圏域大野地域リハ広域支援センター 研修会
- テーマ：災害リハビリテーション～災害派遣に至るまでの経過と活動報告～
- 日 時：令和6年12月17日（火）19：00～21：00
- 講 師：高橋隆一氏 医療法人恵愛会 中村病院 理学療法士
大分県理学療法士協会 副会長
- 会 場：帰巖会みえ病院 大会議室
- 参加者：24名
- v) 西部圏域日田玖珠地域リハ広域支援センター 研修会
- テーマ：災害リハビリテーション ～大分J R A Tの取り組みと支援の実際～
- 日 時：令和6年11月22日（金） 19時00分～20時30分
- 場 所：オンライン開催

講 師：JCHO湯布院病院/大分JRAT事務局
事務局長 佐藤友美
JRAT R-スタッフ 湊田 翼

- vi) 北部圏域宇佐・高田地域リハ広域支援センター 研修会
テーマ：口腔機能の評価とケアのポイント
日 時：令和6年12月5日（木） 19：00～20：30
会 場：佐藤第一病院 ※オンライン配信あり
講 師：長野久美子 氏、前畑幸子 氏 大分県歯科衛生士会
会 場：佐藤第一病院
参加者数：70名（対面20名、オンライン50名）

(3) リハビリテーションに関する調査・研究

1) 関係団体、医療機関との連絡・調整

方 法：三者会議並びに拡大運営会議等の開催による連携構築

会 場：対面またはオンライン

内 容：県センターと広域支援センター、関係機関との連携体制の調整

i) 三者会議

第42回：令和6年4月25日（木）13：30～16：00 湯布院病院第1、2会議室

第43回：令和6年11月21日（木）13：30～14：30 オンライン

ii) 拡大運営会議

令和6年5月23日（木）13：30～15：00 オンライン

iii) 大分JRAT事務局会議

令和6年4月17日（水）19：00～20：00 オンライン

令和6年9月5日（木）19：00～20：00 オンライン

令和7年1月10日（金）19：00～20：00 オンライン

iv) 大分JRAT世話人会

令和6年4月23日（火）18：30～19：30（令和5年度分）オンライン

令和7年3月27日（木）18：30～19：30 オンライン

v) 大分県総合防災訓練への参画

- ・令和6年度大分県・豊肥地区総合防災訓練 全体説明会

日 時：令和6年4月25日（木）13：30～14：30

場 所：神楽会館 多目的ホール

参加者：大分JRAT事務局

日隈武治（大分県OT協会） 高橋隆一（中村病院）

- ・第1回実行委員会

日 時：令和6年6月18日（火）13：30～14：30

場 所：竹田市総合文化ホール グランツたけた

参加者：大分JRAT事務局

日隈武治（大分県OT協会） 高橋隆一（中村病院）

- ・令和6年度大分県・豊肥地区総合防災訓練 全体会議

日 時：令和6年8月22日（木）10：00～12：00

場 所：オンライン

参加者：大分JRAT事務局

日隈武治（大分県OT協会） 高橋隆一（中村病院） 佐藤友美（湯布院病院）

- ・大分県総合防災訓練

日 時：令和6年9月29日（日）9：00～13：00
場 所：豊後大野市犬飼公民館
活動員：大分JRAT事務局
針 秀太 迫頭友美 楢田 翼 高嶋一慶 山本周平 佐藤友美（湯布院病院）
日隈武治（大分県OT協会） 高橋隆一（中村病院） 宮下祐介（津久見中央病院）
是永浩二 佐藤佳希（みえ病院）

・第2回実行委員会

日 時：令和7年1月31日（金）13：30～14：30
場 所：竹田市総合文化ホール グランツたけた
参加者：楢田 翼 佐藤友美（湯布院病院）

VI) 臼杵市一斉避難訓練

日 時：令和6年11月10日（日）8：30～12：30
場 所：臼杵市立下ノ江小学校
活動員：楢田 翼 山本周平（湯布院病院）
高橋隆一（中村病院） 宮下祐介（津久見中央病院）
真田康孝 吉岡葉月希 武原優紀 安東直美 宮村美香 吉田真由美
（6名 臼杵市医師会立コスモス病院）

VII) 別府市南モデル地区避難所運営訓練

・事前打ち合わせ

日 時：令和7年1月10日（金）16：30～17：15
場 所：オンライン
参加者：高嶋一慶 佐藤友美（湯布院病院）

・当日

日 時：令和7年2月16日（日）8：40～13：00
場 所：別府市立南小学校
活動員：高橋隆一（中村病院） 高嶋一慶 山本周平（湯布院病院）
池田真一 衛藤貴謙（別府リハビリテーションセンター）
矢野薫里（杵築中央病院）

・避難所運営訓練 振り返り会

日 時：令和7年3月11日（火）19：00～20：30
場 所：別府市立南小学校
参加者：山本周平（湯布院病院）

2) 関係団体会議等への出席

・大分県地域リハビリテーション研究会 第36回役員会

日 時：令和6年6月11日（火）
場 所：オンライン
参加者：針 秀太

・大分県介護予防・地域づくり推進部会

日 時：令和6年8月8日（木）
令和7年1月14日（火）

場 所：オンライン
参加者：針 秀太

・都道府県リハ支援センター会議

日 時：令和6年11月7日（木）17：00～18：00

場 所：オンライン

参加者：迫頭友美 吉村修一

- ・（一社）日本災害リハビリテーション支援協会 創立5周年記念式典

日 時：令和6年12月3日（土）15：00～18：00

場 所：九段会館テラス

出席者：佐藤友美

- ・大分県脳卒中医療連携協議会・大分県心血管疾患医療連携協議会（合同開催）

日 時：令和7年1月20日（月）

場 所：オンライン

参加者：針 秀太

- ・大分DWAT 災害福祉支援ネットワーク会議

第8回 日時：令和6年6月20日（火）10：30～12：00

第9回 日時：令和6年2月22日（木）13：30～15：00

場 所：オンライン

参加者：佐藤友美 楢田 翼

- ・保健医療福祉に係る災害派遣チーム意見交換会

日 時：令和7年3月5日（水）19：00～21：00

場 所：大分県庁舎本館2階 正庁ホール

参加者：針 秀太 佐藤友美 高嶋一慶

- ・大分県高次脳機能支援推進協議会

日 時：令和7年3月3日（月）15：00～16：30

場 所：大分県こころとからだの支援センター

参加者：佐藤友美

3) 人材派遣

- ・地域ケア会議（由布市、九重町、玖珠町、豊後高田市、佐伯市、宇佐市、中津市、豊後大野市）

PT：13件

OT：16件

ST：11件 計40件

- ・由布市健康応援団（由布市一般介護予防事業）

PT：11件

OT：2件

ST：4件 計17件

- ・令和6年度地域・職域連携推進会議

日 時：令和7年2月3日（月）14：00～15：30

場 所：中部保健所由布保健部

派遣者：佐藤友美

- ・令和6年度大分県運転免許センターとの合同連携会議

日 時：令和6年12月4日（水）16：00～17：00

場 所：大分県運転免許センター

派遣者：木村暢夫

2) 令和5年度大分県リハビリテーション支援センター活動報告書 発行および発送

2. 大分災害リハビリテーション推進協議会（大分 JRAT） 令和6年度 事業報告

1. 大分 JRAT 登録の状況

令和7年3月現在 登録者合計78名 + RRT 9名 + CBR チーム 23名

【内訳】

医師 8名 理学療法士 49名 作業療法士 16名 言語聴覚士 4名 情報技術 1名

R- スタッフ 9名

CBR チーム（広域支援センター災害リハ担当者チーム）：23名

2. 令和6年度事業

1) 平時活動

【人材育成（研修会：再掲）】

- ・ 令和6年度 第15回大分 JRAT 災害リハビリテーション研修会

実施日：令和6年7月5日（金）19：00～21：00（18：30入室）

研修内容：令和6年能登半島地震 活動報告会

内容・報告者：

- 1) 大分 JRAT の活動概要とロジスティクス報告

日隈武治 氏 大分県作業療法協会 副会長

- 2) 現地直接支援報告

能登町・輪島市：高橋隆一 氏 中村病院 大分県理学療法士協会 副会長

珠洲市：山本周平 湯布院病院 言語聴覚士

- 3) 石川 JRAT 災害対策本部でのロジスティクス報告

高嶋一慶 湯布院病院 理学療法士

会 場：オンライン

対 象：大分 JRAT 活動支援員登録者及び災害時リハ支援に興味があるリハ関連職種

参加者数：61名

- ・ 令和6年度 第16回大分 JRAT 災害リハビリテーション研修 災害時本部運営研修

実施日：令和6年12月14日（土）13：15受付開始 13：30～17：30

研修内容：災害医療の基礎と災害リハビリテーション支援時の本部運営を学ぶ

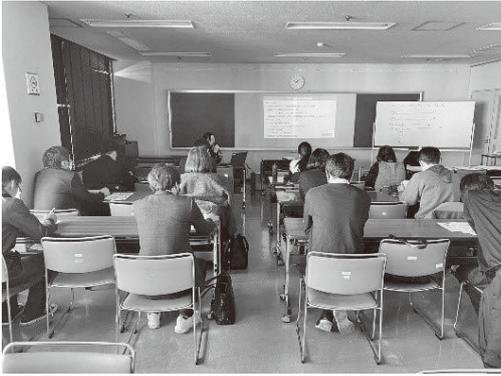
講 師：高嶋一慶 氏 湯布院病院 理学療法士

会 場：コンパルホール305会議室

対 象：大分 JRAT 活動支援員 広域支援センター災害リハ担当者

災害時リハ支援に興味があるリハ関連職種

参加者数：24人



災害リハの概論について学ぶ



REHUG：ゲームを通してJRAT 災害対策本部の一日を体験



複数の職種が協働する機会になりました



クロノロジーを書くことが実践経験になります

【組織運営】

iii) 大分JRAT事務局会議

令和6年4月17日（水）19：00～20：00 オンライン

令和6年9月5日（木）19：00～20：00 オンライン

令和7年1月10日（金）19：00～20：00 オンライン

iv) 大分JRAT世話人会

令和6年4月23日（火）18：30～19：30（令和5年度分）オンライン

令和7年3月27日（木）18：30～19：30 オンライン

v) 大分県総合防災訓練への参画

- ・ 令和6年度大分県・豊肥地区総合防災訓練 全体説明会

日 時：令和6年4月25日（木）13：30～14：30

場 所：神楽会館 多目的ホール

参加者：大分JRAT事務局

日隈武治（大分県OT協会） 高橋隆一（中村病院）

- ・ 第1回実行委員会

日 時：令和6年6月18日（火）13：30～14：30

場 所：竹田市総合文化ホール グランツたけた

参加者：大分JRAT事務局

日隈武治（大分県OT協会） 高橋隆一（中村病院）

- ・令和6年度大分県・豊肥地区総合防災訓練 全体会議
日 時：令和6年8月22日（木）10：00～12：00
場 所：オンライン
参加者：大分JRAT事務局
日隈武治（大分県作業療法士協会） 高橋隆一（中村病院） 佐藤友美（湯布院病院）
- ・大分県総合防災訓練
日 時：令和6年9月29日（日）9：00～13：00
場 所：豊後大野市犬飼公民館
活動員：大分JRAT事務局
針 秀太 迫頭友美 鋏田 翼 高嶋一慶 山本周平 佐藤友美（湯布院病院）
日隈武治（大分県作業療法士協会） 高橋隆一（中村病院） 宮下祐介（津久見中央病院）
是永浩二 佐藤佳希（みえ病院）
- ・第2回実行委員会
日 時：令和7年1月31日（金）13：30～14：30
場 所：竹田市総合文化ホール グランツたけた
参加者：鋏田 翼 佐藤友美（湯布院病院）

VI) 臼杵市一斉避難訓練

- 日 時：令和6年11月10日（日）8：30～12：30
場 所：臼杵市立下ノ江小学校
活動員：鋏田 翼 山本周平（湯布院病院）
高橋隆一（中村病院） 宮下祐介（津久見中央病院）
真田康孝 吉岡葉月希 武原優紀 安東直美 宮村美香 吉田真由美
（6名 臼杵市医師会立コスモス病院）

VII) 別府市南モデル地区避難所運営訓練

- ・事前打ち合わせ
日 時：令和7年1月10日（金）16：30～17：15
場 所：オンライン
参加者：高嶋一慶 佐藤友美（湯布院病院）
- ・当日
日 時：令和7年2月16日（日）8：40～13：00
場 所：別府市立南小学校
活動員：高橋隆一（中村病院） 高嶋一慶 山本周平（湯布院病院）
池田真一 衛藤貴謙（別府リハビリテーションセンター）
矢野薫里（杵築中央病院）
- ・避難所運営訓練 振り返り会
日 時：令和7年3月11日（火）19：00～20：30
場 所：別府市立南小学校
参加者：山本周平（湯布院病院）

3. おおいた食のリハビリテーション研究会 活動報告

本研究会は平成18年12月3日に発足し、令和7年6月現在での会員数は137名である。主な活動は年に2回の研修会と大分県社会福祉介護研修センターとの共催で実施している摂食・嚥下セミナーがある。また、会報誌「おおいた食リハニュース」を発行している。

<令和6年度活動報告>

① おおいた食のリハビリテーション研究会 総会・第34回研修会・総会

テーマ：「生きる力を引き出す口腔ケア・口腔リハビリ」

日時：令和6年7月28日（日）9：30～12：00

場所：大分県社会福祉介護研修センター 小ホール

参加者：57名

講演：「生きる力を引き出す口腔ケア・口腔リハビリ～実技講習～」

講師：村田歯科医院 歯科医師 黒岩恭子先生



写真（左・中）：実演中の黒岩先生



写真（右）：実技演習を行う参加者の様子

② おおいた食のリハビリテーション研究会 第35回研修会

テーマ：「摂食・嚥下障害の対応～在宅の事例を通して～」

日時：令和7年3月16日（日）9：30～12：30

場所：大分県社会福祉介護研修センター 小ホール

参加者：54名

講演①

演題：「摂食嚥下訓練の基礎と実際」

講師：大分県言語聴覚士協会 武生脩司先生（訪問看護ステーション言の葉）

講演②

演題：「多職種で支える食支援～在宅における管理栄養士の関わり～」

講師：大分県栄養士会 廣瀬明子先生（ヒカリノ診療所）



写真（左）：武生先生



写真（右）：廣瀬先生 会場（質疑応答）の様子

- ③会報誌「おおいた食リハニュース」発行
 第41号 令和7年1月発行
 特集：摂食嚥下障害に対しての電気刺激療法



写真：おおいた食リハニュース表紙

大分県地域リハビリテーション 広域支援センター活動報告

<記載項目>

- ①圏域の特徴・令和6年度目標
- ②研修テーマ
- ③広域主催の主な研修内容
- ④地域での連携状況
- ⑤圏域での災害支援の協力体制について
- ⑥今後の課題

東部圏域 東国東地域

センター長 野邊 靖基

担当窓口 中村 晋也



【広域主催の主な研修内容】

「前庭機能に着目したリハビリテーション」として、めまいの研修会を開催

日時：令和6年9月13日（金） 17：15～18：30

会場：国東市民病院ふれあいホール

講師：奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学助教 塩崎智之 先生

※国東市との共催としてフレイル予防のための市民公開講座を開催

「筋・骨格の病気とその予防について」

講師：国東市民病院副院長 嶋田直宏 先生

日時：令和6年10月20日（日）13：30～15：00

会場：アストくにさきアストホール

【地域での連携状況】

相談対応：「摂食嚥下・口腔ケア・介護・障害関係・歯科医療・その他」、随時対応

その他：※研修会場として利用

※医療実習（医師、コ・メディカル、救急救命）

※リージョナルメディカリスト⇒ 令和6年8月8日（木）開催

講師派遣：市との共同介護予防事業（フレイル予防）における講師派遣、5件（PT・OT）

出前講座を開催、15件（内 11件はリハビリ関係）

会議：国東市在宅医療・介護連携推進運営会議および作業部会議への参加

くにさき地域包括ケア推進会議（ホットネット）への参加

※ホットネット研修会（メンバー以外の施設・多職種が参加）

講師：小川浩美 国東市副市長

講話：市民幸福度の高いまちを目指して

～ウェルビーイング（Well-being）の維持～

介護認定審査会・介護給付費等給付審査会（障がい）への参加

その他：※糖尿病（若葉の会）への取り組み⇒令和6年6月8日（土）

※令和6年10月19日（土）糖尿病ウォークラリーを開催

東部圏域 別杵速見地域

センター長 青野 只明
担当窓口 吉村 憲人
担当窓口 福澤 至



【圏域の特徴・令和6年度目標】

圏域内の各地域にリハビリ専門機関があり、医療・介護・福祉の様々な分野において機関ごとに様々な取り組みをおこない、地域住民をサポートする体制が整備されている。各機関の専門職を対象とした研修会を開催することで各個人のスキルアップを支援し、地域での活動に活かしていけるよう支援を行う。

【研修テーマ】

高齢者や障害をもった方が住み慣れた地域でその人らしく安全に生活を送れるよう「骨折と栄養」、「認知症者への理解と対応」について学ぶ。

【広域主催の主な研修内容】

- ①開催日時：令和6年10月23日（水）18：30～19：30
研修内容：骨折と栄養
講 師：伊東祐輔氏（別府リハビリテーションセンター 理学療法士）
開催方法：Zoomによるオンライン研修 参加者数：30名
- ②開催日時：令和6年11月27日（水）18：30～19：30
研修内容：認知症者への理解と対応
講 師：菅 真理氏（別府リハビリテーションセンター 看護師）
開催方法：Zoomによるオンライン研修 参加者数：32名

【地域での連携状況】

- ①地域ケア会議
別府市：28回（理学療法士、作業療法士）日出町：3回（作業療法士）
宇佐市：6回（言語聴覚士）国東市：3回（言語聴覚士）由布市：1回（言語聴覚士）
- ②別府市自立支援型サービス支援事業
個別支援 51回（理学療法士30回 作業療法士21回）
健康教室 5回（理学療法士4回、作業療法士1回）
フォローアップ教室 8回（理学療法士4回、作業療法士4回）
めじろん元気アップ体操 8回（理学療法士）

③出前講座

施設向け：9件 参加人数：延べ92名

地域包括職員と一般向け：9件 参加人数：延べ185名

④共催研修会（後援）

第35回大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会（令和6年9月8日）

【圏域での災害支援の協力体制】

大分 JRAT を通じての協力 福祉避難所（別府市）としての協力

【今後の課題】

感染対策を講じながらの事業展開について

中部圏域 大分地域

大分リハビリテーション病院

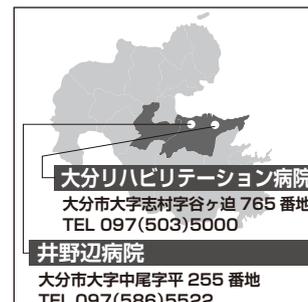
センター長 井上 敏

担当窓口 保田 晋一

井野辺病院

センター長 井野邊純一

担当窓口 佐藤 暁



【圏域の特徴・令和6年度目標】

- ・研修会の企画、運営する
- ・講師の派遣、調整業務を適切に行う
- ・大分 IRAT との協働

【研修テーマ】

- ・在宅分野での栄養指導
- ・回復期リハビリテーション

【広域主催の主な研修内容】

①中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター研修会

テーマ：「回復期リハビリテーションのあるべき姿」

～令和6年度診療報酬改定から見てきたこと～

期 日：令和6年10月19日（土曜日）

講 師：初台リハビリテーション病院 院長 菅原英和 先生

場 所：大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス

参加者：66名

②在宅分野における訪問栄養食事指導の取り組みや、症例事例を通しての学び

期 日：令和6年11月16日（土曜日）

講 師：ヒカリノ診療所 管理栄養士 廣瀬明子 先生

場 所：大分リハビリテーション病院 +WEB 配信

参加者：50名前後（対面20名、WEB30名）

【地域での連携状況】

- ・各種健康教室、介護予防事業に対する講師派遣

地域への講師派遣 10回（介護予防について／フレイルについて など）井野辺病院 佐藤 暁

大分市民健康づくり運動教室 ひらのはなみずき教室 「転倒予防について」

大分リハビリテーション病院 PT 若林祐士他1名

パワーアップ教室講師 大分リハビリテーション病院 PT 横濱亮太他1名

・各種会合への出席

大分市在宅医療・介護連携会議 作業部会（2回出席） 大分リハ病院 渡邊亜紀・保田晋一

大分市在宅医療・介護連携推進事業運営委員会（2回出席） 大分リハ病院 渡邊亜紀

大分市市民公開講座（12/8）への協力 渡邊亜紀・佐藤 暁・保田晋一

第6回大分市高齢者福祉計画

及び第9期大分市介護保険事業計画策定委員会

井野辺病院 佐藤 暁

令和6年度中部保健所由布保健部難病対策地域協議会

井野辺病院 後藤直哉

【圏域での災害支援の協力体制】

・大分 JRAT 研修会への参加

・大分 JRAT CBR チームへの参画

【今後の課題】

中部圏域 白津地域

センター長 舩友 一洋

担当窓口 安藤 真次



【圏域の特徴・令和6年度目標】

市町村や他職能団体と連携を図り、リハビリテーション視点での事業展開

【研修テーマ】

「働く世代」も含めた地域住民に向けた健康増進、介護予防

【広域主催の主な研修内容】

研修会の開催

①日 時：令和6年6月19日 10：00～11：00

テーマ「ばたから体操について」

講 師：白杵市医師会立コスモス病院

言語聴覚士 萩平拓海

理学療法士 白石豊章

場 所：中津浦公民館

対象者：サロン利用者

参加者数：15名

②日時：令和6年6月27日 13：30～14：30

テーマ「ばたから体操について」

講 師：白杵市医師会立コスモス病院

言語聴覚士 松下麻衣

作業療法士 大河内玲奈

場 所：藤田 憩いの家

対象者：サロン利用者

参加者数：10名

③日時：令和6年7月29日 13：30～14：30

テーマ「転倒予防について ～原因と運動～」

講 師：白杵市医師会立コスモス病院

理学療法士 佐藤早紀

作業療法士 野上聡美

場 所：佐志生 ふれあいセンター

対象者：サロン利用者

参加者数：11名

④日 時：令和6年10月17日 13：30～14：30

テーマ「誤嚥性肺炎予防 ～予防体操～」

講 師：白杵市医師会立コスモス病院

言語聴覚士 鶴岡利紀

理学療法士 白石豊章

場 所：上北地区コミュニティセンター

対象者：サロン利用者

参加者数：13名

⑤日時：令和6年11月10日 10：40～11：10

テーマ「避難所でのエコノミークラス症候群を予防する運動」

講 師：白杵市医師会立コスモス病院

理学療法士 白石豊章

高橋麻奈江

場 所：佐志生小学校 体育館

対象者：佐志生地区住民

参加者数：120名

⑥日時：令和6年11月10日 9：00～12：00

テーマ「白杵市一斉避難訓練」

参 加：白杵市医師会立コスモス病院

理学療法士 武原優紀 吉岡葉月希

作業療法士 真田康孝

看護師 安東直美 宮村美香 吉田真由美

場 所：下ノ江小学校

対象者：下ノ江地区住民

⑦日時：令和6年11月18日 11：00～11：50

テーマ「フレイル・介護予防について」

講 師：白杵市医師会立コスモス病院

作業療法士 大河内玲奈

理学療法士 相川璃生

場 所：野津大西公民館

対象者：サロン利用者

参加者数：10名

⑧日 時：令和7年1月6日 13：30～14：30

テーマ「食べる喜びを守ろう」

講師：白杵市医師会立コスモス病院

言語聴覚士 鶴岡利紀

理学療法士 白石豊章

場 所：上北地区コミュニティセンター

対象者：上北亀城大学参加者

参加者数：11名

⑨日 時：令和7年2月27日 19：00～20：30

テーマ「地域で支えるパーキンソン病」

講師：白杵市医師会立コスモス病院

神経内科 安高拓弥 先生

場 所：Web 開催

対象者：医療・介護従事者

参加者数：74名

【地域での連携状況】

- ①地域ケア会議への協力
- ②事業所向け研修会講師や現場への派遣事業
- ③地域向けサロンへの派遣事業
- ④うすき石仏ねっとによる医療介護情報の共有
- ⑤白杵市認知症を考える会への参加

【圏域での災害支援の協力体制】

日本DMATと協力し南海トラフ地震が発生した場合を想定した実動訓練や白杵市消防本部と連動した災害訓練を継続中

JRATへの協力体制の整備

【今後の課題】

- ・白津地域のリハビリテーション広域支援センターを担うスタッフの育成
- ・JRAT参加要請に対する人員の確保と活動の理解

南部圏域 佐伯地域

センター長 後藤陽一郎

担当窓口 土谷 健治



【圏域の特徴・令和6年度目標】

特徴：包括支援センター及び佐伯市社協などと連携を密に取り、自立支援に向けた支援体制の拡充に取り組む。

目標：住民自身が介護予防・自立支援について理解し、介護予防の為の取り組みを積極的に行えるようになる。

【研修テーマ】

介護予防・自立支援の為の取り組みについて正しく理解する。

【広域主催の主な研修内容】 ※いずれも対象は地域住民

①令和6年6月5日 テーマ：脳卒中について

講師：長門記念病院 院長 山口 豊 参加者 42 人

②令和6年7月19日 テーマ：脳卒中について

～健康への意識があなたの大切な人々の命を守ります～

講師：長門記念病院 院長 山口 豊 参加者 27 人

③令和6年9月25日 テーマ：ロコモティブシンドロームについて

講師：長門記念病院 整形外科 井上 敏 理学療法士 小野隼史 参加者 35 人

④令和6年12月18日 テーマ：リハビリスタッフと一緒にロコモ体操やりませんか？

講師：長門在宅リハビリテーションクリニック 理学療法士 前田泰明 参加者 15 名

【地域での連携状況】

①研修会講師の依頼及び派遣調整。

②研修会の企画、広報及び開催を佐伯市と共同で実施。

③地域リハ活動支援事業への協力（スタッフの派遣及び他施設スタッフの派遣調整）

④高齢者にやさしい地域づくり協議会参加。

⑤圏域介護予防検討会参加。

⑥佐伯市介護予防講演会参加。

⑦さいき在宅医療介護推進フォーラム 2024 参加。

⑧短期集中予防サービス意見交換会参加

【圏域での災害支援の協力体制】

昨年2月に当院職員がJMATおよびJRATの隊員として能登半島での災害支援活動に参加した。院内での災害支援活動報告などを通してJRAT活動参加者を募り、JRATのチーム編成ができるように取り組んでいる。

また、令和6年6月に大分DMAT指定医療機関として認定され、今後は南部圏域の災害拠点病院の指定を受ける準備を行っている。10月26日には佐伯市の災害訓練が実施され、災害拠点病院として院内に佐伯市医師会の災害本部を設置する想定で訓練を行い、保健所や市役所、各医療機関とも連携して災害対策を行っている。

【今後の課題】

災害支援体制の整備。

豊肥圏域 大野地域

センター長 首藤 治

担当窓口 石丸 知二



【圏域の特徴・令和6年度目標】

【研修テーマ】

災害リハビリテーションについて（基礎知識から）

【広域主催の主な研修内容】

①災害リハビリテーション

～災害派遣に至るまでの経過と活動報告～

災害派遣に関わる様々な職種、団体との関わりや、災害派遣チームの概要、組織図、実際の派遣までの流れ、被災地に着いてからの実際の活動内容などを中心に講義を行った。

講師：高橋隆一氏 医療法人恵愛会 中村病院 理学療法士

大分県理学療法士協会 副会長

日時：12月17日（火）19：00 - 21：00

会場：帰巖会みえ病院 大会議室

参加者：24名

【地域での連携状況】

令和6年度豊後大野市地域ケア会議アドバイザー選定調整

- ・豊後大野市との講師調整
- ・（公社）大分県理学療法士協会 地域担当者との調整等

【圏域での災害支援の協力体制】

- ・今年度は実績なし。

【今後の課題】

- ・災害時の当院施設利用方法
- ・災害リハビリテーションの法人理解

豊肥圏域 竹田地域

センター長 浅尾 恒徳

担当窓口 皆川 翼



【圏域の特徴・令和6年度目標】

特徴：高齢化率40%を超え、介護予防の必要性が高い方が多く、
住まい・主介護者の高齢化も進んでいる地域にある。

目標：地域のニーズに出来る限り応答する

【研修テーマ】

未定

【広域主催の主な研修内容】

未定

【地域での連携状況】

- R6年7月；短期集中C型支援事業にて“令和6年度事業所向けICTを活用した自立支援型サービス推進事業”へ参加しました。
- R6年9月；竹田市が運営する介護予防支援実務部委員会への会員選出（管理栄養士1名）
- R6年12月；講師派遣（PT）。竹田市主催“血管の若返り教室”
- その他；竹田市役所／地域包括支援センター等と随時、情報交換や連携を図っています。

【圏域での災害支援の協力体制】

- 災害拠点病院指定、DMAT指定病院
- 行政機関（主に竹田消防署）からの災害情報取得
- その他、支援依頼に対しては随時検討します

【今後の課題】

西部圏域 日田玖珠地域

センター長 林田 良三
担当窓口 諫山 昌寿
担当窓口 三木 征博



【令和6年度目標】

行政・他職能団体との顔の見える関係を維持し、在宅医療・介護の連携推進を図る。

【研修テーマ】

「災害リハビリテーション ～大分 JRAT の取り組みと支援の実際～」

【広域主催の主な研修内容】

昔「災害は忘れた頃にやってくる」といわれていました。しかし、近年では気候変動により台風や集中豪雨等による自然災害が頻発しております。いまや「災害は忘れるまもなくやってくる」状態です。

避難生活で起こる生活不活発病や災害関連死が重大な問題として指摘されており、リハビリテーションの視点から被災者・要配慮者などの早期自立生活の再建・復興を目指す『災害リハビリテーション』の取り組みについて講演していただきました。

日時：令和6年11月22日（金曜日） 19時00分～20時30分

場所：オンライン開催

講師：JCHO 湯布院病院／大分 JRAT 事務局

事務局長 佐藤友美 氏
JRAT R-スタッフ 鋤田 翼 氏

【地域での連携状況】

地域リハビリテーション活動・地域との具体的連携・会議（回数）・共催の研修会・相談、施設利用

(1)会議出席

- ①日田市在宅医療連携会議（2名：月1回：日田市医師会主催）
- ②地域ケア会議（日田市）／PT 3名を派遣

(2)相談・施設利用

通いの場へのセラピスト派遣調整の相談

(3)講師派遣

今年度は依頼なし

【圏域での災害支援の協力体制について】

随時検討

【今後の課題】

災害時の協力体制

北部圏域 中津地域

センター長 川島 真人

担当窓口 杉木 知武



【圏域の特徴・令和6年度目標】

- 健康・運動についての啓蒙活動
- 地域活動への協力・参加
- 災害対応時の体制作り

【研修テーマ・広域主催の主な研修内容】

- 健康教室（8回 講師：当院 Dr・PT・臨床工学技士・管理栄養士・放射線技師 参加者 30～50名）
ロコモとフレイルの予防と健康寿命（5/11） 寝たきり予防の為に～脚の付け根の骨折～（6/15）
膝小僧の元気いきいき体操（7/20） 元気と長寿と食事について（8/17）
高気圧酸素治療について（9/28） 肩関節疾患について（11/9）
冬の栄養不足に注意！（1/18） 当院放射線科の装置の種類と画像について（2/15）
- 骨と関節の日（10/5 講師：当院 Ns・PT 参加者 50名）
骨粗鬆症の予防と治療
骨折予防体操
当院 OLS 委員による相談コーナー（Dr・Ns・PT）

【地域での連携状況】

- 転倒予防教室（18回 PT 派遣 中津市大幡地区 各月 1～2回）
- 中津市地域ケア会議助言者（2回 OT1 名派遣 4/25 2/27）
- 中津市寄り合いの場への運動指導（8回 PT・OT 派遣 中津市内・三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国）
（7/12 8/23 9/27 10/1 10/19 11/15 11/20 12/14）
- 中津市運動で健康づくり推進員養成講座 元気ハツラツ教室講師（PT 1名派遣 9/5）
- 中津市教育委員会社会教育課生涯学習教室リハビリ健康体操講師
（6回 PT 3名派遣 6/14 7/25 8/9：2回 12/20 3/13）
- 高齢者骨折地域連携パス作業部会（3回 PT・OT 2名参加 4/13 9/14 11/30）
- 中津市在宅医療・救急医療連携部会（2回 PT 1名出席 8/19 1/15）
- 中津市在宅医療・介護連携推進協議会社会的処方ワーキング
（3回 PT 1名出席 7/18 9/4 2/3）
- 中津市地域包括支援センター運営協議会（2回 PT1 名出席 7/4 3/6）
- 中津市在宅医療・介護連携推進協議会評価検討部会（PT 1名出席 2/18）
- 中津市在宅医療・介護連携推進協議会（PT 1名出席 3/25）
- 令和6年度北部圏域難病患者療養支援検討会（PT 1名出席 3/7）

【圏域での災害支援の協力体制】

- 中津市民病院災害訓練参加・連携（4名参加 9/28）

北部圏域 宇佐高田地域

センター長 中原 成浩

担当窓口 藤原 愛作



【圏域の特徴・令和6年度目標】

- ・ 広域支援センター内 BCP 計画作成（継続）
- ・ 在宅医療介護連携システム（再構築）の推進を図る

【研修テーマ】

テーマ：口腔機能の評価とケアのポイント

【広域主催の主な研修内容】

日 時：令和6年12月5日（木） 19：00～20：30

会 場：佐藤第一病院 ※オンライン配信あり

講 師：長野久美子 氏、前畑幸子 氏

講師所属：大分県歯科衛生士会

会 場：佐藤第一病院

参加者数：70名（対面20名、オンライン50名）

【概要】

地域のリハビリテーション関連職種、行政職員も含めて70名の参加があった。オーラルフレイルの考え方や誤嚥性肺炎予防のために必要な口腔機能と口腔ケアのポイント並びに実技指導を行ってもらった。また、会場には口腔ケアの物品の展示も行ってもらい、とても好評であった。



【地域での連携状況】

- 1) 地域ケア推進会議（宇佐市）：1件
- 2) 地域ケア会議助言者派遣（宇佐市、豊後高田市）：10件
- 3) 一般市民介護予防教室 講師派遣（宇佐市、豊後高田市）：11件
- 4) 市民向け研修会、従事者向け研修会等 講師派遣：4件
- 5) 宇佐市在宅医療・介護連携推進会議参加：1件
- 6) 介護予防・日常生活支援総合事業 人材派遣調整（宇佐市）：64件

【圏域での災害支援の協力体制】

- ・ 災害リハ支援担当者、RRT への圏域協力スタッフの育成

【今後の課題】

- ・ 広域支援センター内 BCP 計画作成（継続）
- ・ 圏域内の連絡体制の整備

県内地域リハビリテーション専門職能団体 (拡大運営会議構成団体) 活動報告

<記載項目>

①会の現状

②地域リハ関連の活動・取り組み

③地域リハ活動における課題・今後の展開

一般社団法人 大分県医療ソーシャルワーカー協会

会長

楠 元 緑

令和7年3月31日現在

①協会の現況

<正会員数> 284名（令和6年3月31日現在）賛助会員 36団体 1個人

<執行部> 会長 副会長 常任理事 理事 計15名 令和6年度理事会開催 計6回

<研修部>

1. キャリアラダー研修（Ⅰ～Ⅳ）全8回開催（7月～3月）延べ参加者数191名
2. 九州医療ソーシャルワーカー協議会の教育研修部への参加
3. 全国大会でのシンポジウム主催、相互乗り入れ研修の運営と開催・周知
4. 出張アドバイザー制度 計1回派遣（2月）

<学術部>

1. 社会資源ワークショップの開催（10月18日）

テーマ：「住居確保要配慮者への支援について」

講師：大分事業支援センター 後藤智博氏

住むケアおおいた 三宮佳子氏

つみきの家 藤原光一郎氏

参加者：35名

2. ソーシャルワーク3団体合同セミナー（2月15日）

テーマ：「ソーシャルワークを開く～原点回帰～」

基調講演：「倫理綱領から再考する～ベストインタレストとは～」

講師：日本社会福祉士会 副会長 中田雅章氏

基調講演：「旧優生保護法 被害の実態と最高裁判決について」

講師：旧優生保護法被害大分弁護団事務局 弁護士 岡田壮平氏

実践報告：2題

参加者：50名（当協会より18名）

3. 書籍紹介と文献ライブラリーの作成・運用 投稿数11 フォロワー数522

4. ソーシャルワーク研究発表・論文ライブラリーの運用 2題追加 登録総数46

<ネットワーク部>

1. 地域活性化会議（通称：SmailMeeting）の開催

①初任者研修（4月27日） 参加者：26名

②西部圏域（8月17日） 参加者：22名

③北部圏域（10月19日） 参加者：17名

④南部圏域（3月8日） 参加者：15名

2. リレー・フォー・ライフおおいた2024への参加（9月22日～23日）19名参加

3. 大分県保健医療団体協議会主催「元気フェア」への参加（11月3日）

MSW 協会の相談ブース設定 来場者 約 130 名

4. 大分県医療ソーシャルワーカー協会 MSW 配置状況調査

大分県内の病床数 20 床以上の医療機関 150 機関へ調査を行った。回収率は 100%

<広報部>

1. ホームページの運用・情報配信 計 92 回
2. メールマガジンの配信 登録者数 237 人 発行部数 49 通
3. 公式 Facebook の投稿回数 209 回
4. 公式 LINE の投稿回数 メッセージ 134 回 ホーム 35 回
5. 公式 Instagram の投稿 フォロワー数 1,162 人 投稿回数 103 回
6. 広報誌かはら版の発行 3 回（5 月、9 月、1 月）

<特命班 VOICE>

1. 県内高校生に向けた職業説明会「ソーシャルワーカーデーイベント」（8 月 24 日）
※大分県社会福祉士会、大分県精神保健福祉士協会との共同開催
場所：ホルトホール大分
参加校：7 校 参加者：8 名
2. VOICE セミナー（11 月 13 日）
テーマ「MSW の“元気玉”大集合～夢や目標を語り合って元気をもらおう！」
ZOOM 開催 グループワーク 参加者：17 名

②地域リハ関連の活動報告

・主要会議への参加（実践への連携、制度策定における提言など）

（大分県地域リハビリテーション研究会/大分県医療計画策定協議会/大分県高次脳機能障がい者相談支援体制連絡調整委員会/大分市慢性疾病児童等地域支援協議会 他）

③地域リハ活動における課題・今後の取り組み

地域リハ活動における医療・介護連携をはじめ、地域包括ケアシステム、地域共生社会の実現に向けて MSW がハブ的な役割を担うことが求められている。MSW の専門性を持って地域リハの発展に貢献していきたい。今年度は、新しくイノベーションラボという部門を立ち上げ、在宅医療ソーシャルワークの構築やソーシャルアクションなどを予定しており、より一層の地域リハ活動の貢献を図りたい。また、当協会は患者家族支援団体との「連携団体パートナー」制度を行っており、一昨年度 2 団体、昨年度 1 団体と協定を締結し、インフォーマルな部分も含めての支援を行なっていくこととした。次年度もリハビリ支援が必要なそれらの団体との協定締結を増やし、支援に繋げていきたいと考えている。

公益社団法人 大分県栄養士会

会長

緒方 雅子

令和7年3月31日現在

I、大分県栄養士会の現状

1、会員数 739名（令和7年3月31日現在）

栄養士会は管理栄養士・栄養士の資格を有し、6つ職域分野と勤務先住所による7つの支部に分かれ専門職として活動しています。

職域分野（6）		支 部（7）
①学校健康教育	56名	①大分（大分市・由布市）
②公衆衛生	60名	②別府（別府市）
③研究教育	24名	③東部（日出町・国東市・杵築市）
④フリーランス・栄養関連	159名	④北部（宇佐市・中津市・豊後高田市）
⑤医療	272名	⑤豊肥（竹田市・豊後大野市）
⑥福祉	168名	⑥南部（佐伯市・臼杵市・津久見市）
		⑦西部（日田市・玖珠町）

2、運営方針は、公益法人として栄養士業務を通じて、県民の健康及び福祉・保険の向上に務めると共に関係団体諸機関・諸団体に協力している。

公益事業1では管理栄養士・栄養士の職業倫理の効用を図るとともに栄養指導・栄養管理技術の向上を推進し、県民の公衆衛生の向上に寄与し、公益事業2では、県民向けに科学的根拠に基づく食と栄養の指導や支援を行うための講師派遣事業を行っている。

II、地域リハ活動の報告

1、研修事業（会員向け）

栄養指導・栄養管理資質・技術の向上の為の研修会として生涯教育9研修・485名、大分県地域アドバイザー強化研修会8研修・450名、職域分野別研修会延12研修を実施。

うち、リハビリテーション関連研修が8研修。

①生涯教育「糖尿病の最新トピックス」	8/3	参加者 69名
②生涯教育「学童期における個別指導」	11/9	参加者 56名
③アドバイザー研修「認知症について」	8/31	参加者 56名
④アドバイザー研修「在宅診療での食事支援と実際」	10/5	参加者 125名
⑤アドバイザー研修「移動販売が地域で行っている地域支援」		〃
⑥アドバイザー研修「テクノロジーの活用による自立支援・地域づくり」		参加者 45名
⑦職域分野「フレイル予防の運動」	6/12	参加者 17名
⑧職域分野「災害時の栄養・食生活支援について」	8/26	参加者 46名

2、健康づくり活動（県民向け）

①「栄養の日」の開催

毎年「栄養の日」(8/4)・「栄養週間」(8/1～8/7)と定め「栄養の大切さ」を理解して頂

だくために県民向けのイベントを開催しています。

開催日 令和6年8月4日(日) ゆめタウン 来場者 延べ466名(対象：一般)

内 容 インボディー、ベジチェック、栄養相談

②「野菜の日」の普及啓発活動開催

「野菜(8/31)の日」(まず野菜もっと野菜 with 栄養ワンダー)のイベントとして、県内3カ所で開催しました。(ベジチェック・栄養相談)

トキハイダストリー三重店(8/21)、CO-OP 別府店(8/27)、イオン三光(8/29)で開催され、各店200名強の来場者があった。

③地域ケア会議多職種助言者派遣事業

派遣市町村 16市町村 / 年間 345回 担当管理栄養士 82名

④大分県後期高齢者医療広域連合訪問栄養相談事業

訪問栄養相談業務 対象者 614名・・・訪問指導 401名 担当管理栄養士 61名

⑤その他、料理教室、男性料理教室等の講和、調理実習・栄養相談などの協力

親子料理教室9回 / 年延123名、男性料理教室10 / 回延122名、他ホルトホールの教室
乳幼児健診後の栄養相談

⑥おおいた食の環境整備事業・・・店舗の栄養価(6年度：中食)

対象50店舗(新規及び更新)担当

⑦元気フェア(保険医療団体協議会)・・・栄養相談 11/3(日)

⑧無料電話相談(栄養士会館)・・・毎週水曜日

Ⅲ、地域リハ活動における課題、今後の取り組み

1、栄養ケア・ステーション事業の益々の充実

①「かかりつけ医」との連携

・訪問栄養指導を介護保険で利用する場合は、必ず「かかりつけ医」の指示書が必要になります。「かかりつけ医」や介護支援専門医棟等と連携を図り、訪問栄養指導件数を増やし、在宅支援を行っていきたい。

②「管理栄養士がいない診療所」との連携

・外来栄養指導や訪問栄養食事指導を診療所との契約により実施し、管理栄養士を派遣。訪問栄養食事指導については、対象患者が介護認定の有無により対応する。

③ 地域ケア会議担当の管理栄養士研修会の充実

・具体的な助言の方法、コミュニケーション術等
・高齢者に対する理解を深める為の対策等

④「無料栄養なんでも電話相談」事業の充実(毎週水曜日)

⑤ 通いの場(高齢者サロン)の再開(栄養士会館)

・令和4～6年度はコロナ禍で休止しましたが、令和7年から再開予定
1回 / 月・・・栄養講話と調理
・外部「通いの場」からの依頼への対応。

2、会員に対するスキルアップ研修会の実施。(特に、在宅訪問栄養士)

・訪問栄養相談事業の増加に伴う、担当栄養士の育成

3、県民の公衆衛生に関する各事業に参加協力。(県・市町村からの依頼等)

・市町村からの健康教室

特定非営利活動法人 大分県介護支援専門員協会

理事長

工 藤 修 一

令和7年3月31日現在

1 はじめに

特定非営利活動法人大分県介護支援専門員協会は、「介護保険制度が利用者主体の制度として確立されるよう、専門的知識及び技能を研鑽し、介護支援専門員の資質及び社会的地位の向上に努めることにより、公正・中立なケアマネジメントの実現を目指し、県民の健康と福祉の向上に寄与すること」を目的として、平成18年2月に設立された団体です。現在の会員数は約1,000名です。

基本方針

- 1) 介護支援専門員の専門的資質及び職業倫理の向上
- 2) 介護支援専門員の自主的、自立的職能団体の確立のための研修会などの開催
- 3) 各地域の介護支援専門員協会が行う自主的な活動を支援
- 4) 介護支援専門員の社会的地位の確立
- 5) 介護保険の円滑な実施とサービスの向上に寄与すること

2 地域リハ活動について

(1) 協会の特性

各専門職団体と本協会の最大の違いは、「様々な基礎資格保持者の集合体」であることです。結果として、恒常的に異職種間での意見交換や連携活動が行われています。つまり、介護支援専門員協会は、活動のすべてが地域リハ活動ととらえることも可能です。

(2) 本職の現状

ケアマネの合格率（過去5年平均）は約20%です。加えて、資格取得しても、その任に就く方はわずかです。結果として深刻なケアマネ不足が生じており、これが社会的にも大きな課題となっています。

(3) 関係団体との連携事業

主 催	名 称
大分県福祉保健部 高齢者福祉課	大分県高齢者福祉施策推進協議会
大分県福祉保健部 高齢者福祉課	介護支援専門員法定研修講師連絡会議
大分県福祉保健部 高齢者福祉課	大分県介護予防市町村支援委員会
大分県福祉保健部 高齢者福祉課	大分県医療・介護連携推進協議会
大分県福祉保健部 医療政策課	大分県在宅医療連携委員会
大分県福祉保健部 健康づくり支援課	大分県難病医療連絡協議会
大分県福祉保健部 障害福祉課	大分県高次脳機能障がい者相談支援体制連携調整委員会
大分県医師会（大分県地域保健協議会）	大分県地域保健協議会 高齢者介護小委員会
大分大学大学院	大分大学福祉科学講座実行委員会
大分県リハビリテーション支援センター	運営委員会
大分県リハビリテーション支援センター	大分県災害リハビリテーション推進協議会
大分県地域リハビリテーション研究会	大分県地域リハビリテーション研修会
大分県社会福祉介護研修センター	運営委員会
大分県社会福祉介護研修センター	福祉用具部会
大分県社会福祉介護研修センター	日常生活自立支援事業関係連絡会
大分県小児科医会	おおいた医療的ケア児等支援関連施設連絡会

介護支援専門員は地域の利用者の自立支援のため日常生活全般における総合的な支援をする“対人援助専門職”であります。それ故に介護支援専門員の職能団体としての組織力をより強化し、県内の介護支援専門員の一人ひとりの意見集約に努め、その役割を十分に担える環境を整備すること、そして、利用者の自立支援に繋がるケアマネジメントに対して高い評価が得られるよう積極的に活動を行うことが非常に重要であると考えられます。今後も行政及び各職能団体の皆様のご理解とご協力を賜り協会運営に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

連絡先

大分県介護支援専門員協会事務局

〒 870-1132

大分県大分市光吉 1139-1 首藤ハイツⅡ -101

電話 097-504-7500

FAX 097-504-7501

一般社団法人 大分県介護福祉士会

会長

大 場 喜 弘

令和7年3月31日現在

I. 協会の現状

令和7年5月1日現在 会員数 820名

組 織	支 部
○専門研修部 ファーストステップ研修 基本研修 実習指導者講習会 技能実習指導員講習 行動援護（強度行動障害）従業者 養成研修 ノーリフティングケア技術研修 外国人国家資格取得支援講座 通年研修	日出（別府市、日出町、杵築市、国東市、豊後高田市） 大分（大分市） 由布（由布市） 臼杵（臼杵市、津久見市） 佐伯（佐伯） 豊後大野（豊後大野市、竹田市） 宇佐（宇佐市、中津市） 日田（玖珠町、日田市）
○研 修 部 主催研修会の企画立案・実施	
○教育研究部・講師養成事業 福祉の心醸成事業 出前講座 講師養成・講師派遣	
○調 査 部 会員のニーズの調査等	
○広 報 部 広報誌「豊後梅」発行等	

II. 地域リハ関連の活動・取り組み 主催研修

1. 第1回研修会 日時：令和6年9月7日（土）

第2回研修会 日時：令和6年12月20日（金）

2. ノーリフティングケア 技術研修～実技編：日時：令和6年8月24日（土）・25日（日）

3. 介護福祉士実習指導者講習会

1グループ：日時：令和6年5月22日（水）・23日（木）・6月8日（土）9日（日）（対面開催）

2グループ：日時：令和6年11月20日（水）・21日（木）・12月7日（土）8日（日）（対面開催）

1日目：「介護の基本」「実習指導の理論と実際」

2日目：「介護過程の理論と指導方法」

3日目：「実習指導における課題への対応」「実習指導の方法と展開」「実習指導者に対する期待」

4日目：「スーパービジョンの意義と活用及び学生理解」

4. 通年研修「介護技術講師養成研修」

1回目：令和6年9月10日（火） 2回目：令和6年12月3日（火）

3回目：令和7年4月8日（火）

5. 第I期 強度行動障害支援者養成研修

4日間：令和6年9月17日（火）18日（水）・10月17日（木）18日（金）

6. （公社）日本介護福祉士会研修会① 生涯研修プログラムに則った研修

介護福祉士基本研修（24H）

令和7年2月15日（土）「生涯研修制度における基本研修の位置づけ・介護過程を展開する前提として」

令和7年2月16日（日）「介護過程の基礎的理解」

令和7年3月8日（土）「介護過程の展開の実際」

令和7年3月9日（日）「介護過程の展開の実際・研修のまとめ」 4回開催
ファーストステップ研修 開催方法：オンライン研修 15回実施

1日目：令和6年7月11日（木）「利用者の全人性、尊厳の実践的理解と展開」

2日目：令和6年7月25日（木）「介護職の理論の実践的理解と展開」

3日目：令和6年8月8日（木）「コミュニケーション技術の応用的な展開（全般）」

4日目：令和6年8月22日（木）「コミュニケーション技術の応用的な展開（認知症）」

5日目：令和6年9月5日（木）「ケア場面での気づきと助言（1）」

6日目：令和6年9月19日（木）「ケア場面での気づきと助言（2）」

7日目：令和6年10月3日（木）「家族や地域の支援力の活用と強化」

8日目：令和6年10月17日（木）「職種間連携の実践的理解」

9日目：令和6年10月31日「観察・記録の適格性とチームケアへの展開」

10日目：令和6年11月14日「介護職の健康・ストレスの管理」

11日目：令和6年11月28日「セーフティマネジメント」

12日目：令和6年12月12日（木）「問題解決のための思考法」

13日目：令和6年12月26日「チームのまとめ役としてのリーダーシップ」

14日目：令和7年1月9日（木）「自職場の分析」

15日目：令和7年1月23日（木）「総合学習」

7. 技能実習指導員講習会

日時：令和6年9月3日（火）

8. 外国人介護福祉士国家資格支援講座 日時：令和6年11月7日・18日・26日・12月4日・5日

調査部・・・介護学会論文のための調査・公益社団法人日本介護福祉士会アンケート調査の周知・実施

教育研究部・・・講師養成事業・生活支援技術の研究、マニュアルの作成・見直

- 1) 出前講座 令和6年度10回開催予定 対象者：大分県下の福祉系高校生
- 2) 各種団体への講師派遣・子どもの為の福祉講座等
- 3) 大分市委託 介護のための入門的研修 対象者：大分市在住者

○地域リハ活動における課題・今後の展開

当会は介護の専門職として唯一の国家資格である介護福祉士の職能団体です。ご利用者、ご家族へ日々支援をしながら、専門職として知識や技術の研鑽に努めています。地域福祉の向上のため地域に出向き、介護教室や講話などを展開しています。

認知症患者の増加や若年化、家族の多様化、介護事業所や人材の不足、業務の効率化、外国人介護人材との協働など介護だけにとどまらず取り巻く環境が日々変化しています。このような中でこそ介護の魅力ややりがい、楽しさを発信する重要性が高まっています。

今後の展開として

- ・地域に根ざした介護実践を支援する。地域住民、一般企業等への介護教室の実施。
- ・福祉系高校、専門学校だけでなく小中学生や福祉系以外の学生、先生、保護者等に対して介護の魅力伝えていく。
- ・多様化・複雑化している介護ニーズに応えていくため、関係機関・団体・多職種との連携を強化する。
- ・介護福祉士の専門性の向上を図るため、知識や技術の研鑽のため研修を実施する。

公益社団法人 大分県看護協会

会長

大 戸 朋 子

令和7年3月31日現在

I. 大分県看護協会の現状

- 1) 会員数 10,021名。(2025年3月末現在)
- 2) 公衆衛生の向上を目的として、看護職の教育・研修、看護職が働き続けられる環境づくり、看護領域の開発・展開など8つの事業を行うことにより、時代の変化と人々のニーズにあった安全で質の高い看護を提供し、地域貢献に努めている。
- 3) 活動は、職能委員会、常任委員会等の19委員会および県下を下記11の地域に分けた地区活動を展開している。
①国東 ②別府・杵築・日出 ③大分中央 ④大分東部 ⑤大分西部 ⑥由布 ⑦臼杵・津久見
⑧佐伯 ⑨豊後大野・竹田 ⑩日田・九重・玖珠 ⑪中津・宇佐・豊後高田地区
* 地区活動：施設代表者会議等看護の連携推進事業、地区研修事業（DVDの教材を提供）、看護の日事業等を地域の状況に応じて実施。

II. 2024年度地域リハ関連の活動・取組み

<教育・研修事業>

看護職の資質向上のための研修事業として、年間80研修・延237日、受講者数延9,830人。そのうち、リハビリテーション関連研修は、下記研修を実施。

- 1) 「訪問看護ステーションにおける看護とリハビリスタッフの連携」
日 程：2024年10月30日（水） 参加者：11人
- 2) 「摂食・嚥下ケア～口から食べることをサポートする看護実践～」
日 程：2024年9月6日（金） 参加者：34人
- 3) 「2024年度リスクマネージャー交流会」
日 程：2024年10月5日（土） 参加者：101人（うち理学療法士・作業療法士5名）

<県民の健康づくり活動>

- 1) 「げんき教室」開催
毎月第4水曜日 14:00～15:00 計11回
会 場：大分県看護研修会館 対象：中・高齢者等（一般） 参加者：延292人
- 2) 「一日まちの保健室」開設
大分県立図書館や各種イベント会場で「一日まちの保健室」コーナーを年間7回開設
内 容：血圧、体脂肪・骨密度測定、健康相談等 参加者：延1,509人
- 3) 健康寿命延伸に向けた取り組み
テーマ：「みんなで延ばそう健康寿命！」
内 容：チラシを作成し、会員、げんき教室等県民へ配布
- 4) 大分県地域リハビリテーション研究会研修会における講話

テーマ：「新たな災害支援ナースの仕組みと養成等について」

内 容：3月9日（日） アイネスにて講話、質疑応答

<会議等>下記の会議に参加

- 1) 「大分県リハビリテーション拡大運営会議」(2024年5月23日)
- 2) 「令和6年度大分県地域リハビリテーション研究会研修会」(2025年3月9日)
- 3) 「大分県地域リハビリテーション研究会役員会」(2024年6月11日)
- 4) 「大分県地域リハビリテーション研究会運営部会」(2024年7月22日)

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の取組み

地域リハ関連の研修は、看護職としてケアする力、リハ職の活動や役割を理解し協働する力を養うことを中心に研修の企画・運営を行っている。

少子高齢化が進む中、多様化する医療・介護ニーズに対応していくことが求められる。そのため、医療と生活の視点を持ち、看護職としての役割の発揮や、リハ職をはじめとする多職種との連携がより一層重要となる。

今後は、関係機関と連携し、協会が主催する研修のみでなく、他機関が開催する地域リハ関連の研修会等の情報提供も行っていきたい。

2025年度地域リハ関連の活動・取組み

<教育・研修事業>リハビリテーション関連研修

- 1) 「摂食・嚥下ケア～口から食べることをサポートする看護実践～」
日 程：2025年8月21日（木） 定 員：30人
- 2) 「訪問看護ステーションにおける看護とリハビリスタッフの連携」
日 程：2025年10月16日（木） 定 員：30人
- 3) 「2025年度リスクマネージャー交流会」
日 程：2025年10月4日（土）

<県民の健康づくり活動>

- 1) 「げんき教室」開催 9回/年
- 2) 「一日まちの保健室」開設
大分県立図書館一日まちの保健室、イベント（げんきフェア、あすぴあフェスタ等）、地域で健康相談コーナーを開設
- 3) 健康寿命延伸に向けた取組
テーマ：「みんなで延ばそう健康寿命」
内 容：チラシを作成し、会員、県民に配布

<会議等>

- 1) 大分県リハビリテーション拡大運営会議
- 2) 大分県地域リハビリテーション研究会
- 3) 大分県リハビリテーション支援センター・地域リハビリテーション研究会合同研修会

公益社団法人 大分県言語聴覚士協会

会長

木村 暢 夫

令和7年3月31日現在

I. 協会の現状

- 1) 会員数及び施設数（令和7年3月31日現在）
会員数：313名※約7割が大分、別府に集中している
施設数：112施設
- 2) 構 成：事務局（総務部、広報部、災害対策部）
事業局（医療・介護保険部、生涯学習部、障害保健福祉部）

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

- 1) 言語障害友の会「なし会」関連
 - ①第23回なし会総会
 - ②なし会忘年会
 - ③各ブロック会への参加
 - ④啓発活動
 - ⑤なし会の運営※コロナ後の活動再開に向け当事者代表やご家族との協議を実施。
- 2) 失語症者向け意思疎通支援者養成講座
※9日間にわたり40時間実施。
※修了者14名
- 3) 大分県地域リハビリテーション関連
第21回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会
日 時：2024年8月3日（土）
場 所：大分県消費生活・男女共同参画プラザアイネス2F 大会議室
講 師：栗原正紀氏（日本災害リハビリテーション支援協会 代表理事）
内 容：災害リハビリテーションの課題と展望～令和6年能登半島地震でのJRAT活動より～
- 4) おおいた食のリハビリテーション研究会
第34回研修会
日 時：令和6年7月28日（日）10時00分～12時00分
場 所：大分県社会福祉介護研修センター
内 容：「生きる力を引き出す口腔ケア・口腔リハビリ～実技講習～」
参加者：58名（ST、栄養士、医師、歯科医師、栄養士、ケアマネ他）

第 35 回研修会

日 時：令和 7 年 3 月 16 日（日）9 時 30 分～12 時 30 分

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

内 容：「摂食嚥下訓練の基礎と実際」

参加者：54 名（ST、栄養士、医師、歯科医師、栄養士、ケアマネ他）

5) 発達相談会・巡回相談への派遣

- ・中津市 ～ 5 歳児発達相談会：6 回
- ・豊後高田市 ～ 乳幼児精密検査：7 回
- ・杵築市 ～ 巡回相談、5 歳児発達相談会：6 回
- ・日田市 ～ 5 歳児発達相談会：3 回
- ・由布市 ～ 巡回相談、ことばの発達相談：5 回
- ・別府市 ～ 5 歳児発達相談会：5 回
- ・日出町 ～ 5 歳児発達相談会、きらら相談：10 回

6) リハ関連団体及び県・行政等との連携

- ①大分 JRAT 関連会議参加 ～ 参加回数 4 回
- ②2024 年度 介護予防職員育成推進事業研修 サービス計画担当者研修 講師派遣
- ③2024 年度 介護予防職員育成推進事業研修 介護職員現任者研修 講師派遣
- ④2024 年度大分市パワーアップ教室 講師派遣
- ⑤2024 年度大分県リハビリテーション専門職団体協議会研修会
 - ・大分県地域ケア会議アドバイザー強化初任者研修会
 - ・大分県地域ケア会議アドバイザー強化現任者研修会
- ⑥地域ケア会議助言派遣
派遣先：中津市、宇佐市、国東市、竹田市、佐伯市、豊後大野市、由布市
- ⑦大分県新生児聴覚検査体制検討委員会
- ⑧大分県後期高齢者医療広域連合委託事業 歯科口腔相談事業
- ⑨大分県委託事業 失語症者向け意思疎通支援事業
- ⑩介護予防ボランティア研修、サロンリーダー研修

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

平素より当会の活動に対してご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。当会が設立して 25 年、関係諸機関・団体の皆さまと連携体制の構築を図りながら地域ニーズへの対応と啓発活動、人材育成に取り組んでまいりました。現在、小児から高齢者におけるコミュニケーションや食に対する地域活動支援に資する人材の育成と確保が課題となっています。

令和 7 年度も、貴センターをはじめ、行政、関係職種・団体との連携を図りながら、ST サービスの充実ならびに地域リハビリテーション推進の一助となる会運営を行っていきます。

引き続き、当会活動における皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

一般社団法人 大分県公認心理師協会 (大分県臨床心理士会)

会長

矢島潤平

令和7年3月31日現在

1. 会の現状

会長：矢島潤平

副会長：加藤真樹子、山口直子

事務局長：宗 申也

正会員 314名 (令和7年3月末 現在)

〔部門〕保健医療、産業・労働、司法・犯罪、教育、福祉、災害支援、倫理、涉外、研修、事務局

2. 地域リハ活動の報告

(1)会議への参加

①第22回拡大運営会議

②大分県地域リハビリテーション研究会 役員会議・運営会議

③杵築市重層的支援会議

(2)研修会の参加・発表

①令和6年度 第15回 日本臨床心理士会団体会員 医療保健領域担当学会議

日時：2025年4月21日(日) 9:30～12:30 オンライン

(3)自主研修会の開催

①当協会主催・共催の研修会

・「PTSDに関する基礎知識、最新知見及び臨床実践へのTips」

講師：大江美佐里 (久留米大学保健管理センター、医学部神経精神医学講座・准教授)

日時：2024年10月20日(日) 10:00～16:00

場所：アルメイダ研修会館 5階 研修ホール 参加者：57名

・「アセスメント研修会(3回シリーズ)」

講師：佐藤百合子先生(大分県スクールカウンセラー)

第1回「アセスメント結果の解釈とその言語化」

日時：6月30日(日) 9:30～12:00 参加：53名

第2回「心理検査の精査 ～数値以外の情報から読み取る臨床像～」

日時：9月29日(日) 9:30～12:00 参加：53名

第3回：「なぜその心理検査は必要なのか。どう心理検査を活かすか」

日時：1月26日(日) 9:30～12:00 参加：47名

場所：アイネス大会議室(ハイブリッド形式)

- ・「災害支援における公認心理師・臨床心理士の役割と連携について考える」「大分県における災害支援の課題と今後について」

講師：矢島潤平 先生（別府大学）

日程：6月9日（日）11：30～13：00

場所：大分市荷揚複合公共施設 多目的大会議室

- ・ 実地研修会

テーマ：『司法犯罪領域における基礎知識研修②～裁判所見学～』

司法の現場を知り、クライアントに寄り添う力を磨こう！

日程：8月26日（月）10：00～11：30

場所：大分地方裁判所 参加者：9名

② LGBT 支援の研修会

- ・「こころの相談及びLGBTQ相談 研修 ～事例検討～」

日時：12月2日（月）19：00～21：00

場所：ホルトホール 202 参加者：14名

③保健医療領域の研修

- ・映画「ノルマル17歳。」上映会＋座談会

登壇：渡辺 元 先生（スクールカウンセラー）

日時：2025年1月19日（日）13：30～16：00

場所：iichiko 総合文化センター 映像小ホール 参加者：会員17名、非会員3名

3. 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

一般社団法人 大分県公認心理師協会は、公認心理師と臨床心理士で構成される団体として活動しています。令和7年3月現在、会員数は314名となりました。

当協会会員は、これまでと引き続き、病気や障がい、悩みを抱える人々に対してのこころのケアを担っています。地域リハ活動においては、特に生活を視野に入れた関わり（心理的支援、家族支援、地域医療や在宅に携わるスタッフのメンタルサポートなど）を強化し、地域医療・福祉サービスを担う一員となれるよう、また「地域包括ケアシステム」や「アウトリーチ活動」、そして災害時の支援活動などにチームの一員として参加し、引き続き地域リハビリテーション活動に貢献していけるよう、より一層活動していく所存です。そのために昨年度は災害発生を想定し、支援に動ける会員の把握を主な目的として、Webを利用した会員の安否確認の訓練を行いました。災害の研修と共に、災害発生時の支援体制、受援体制を整えていく予定です。

また、大分県から委託されている「SNSを活用したこころの相談事業（水曜、金曜19時～22時）」を継続し、自殺対策として、各種相談や性的少数者、性に関する悩み相談を併せて展開しています。今後も県民のメンタルヘルスに対し、協会として幅広く寄与していける活動を考え、実践していきたいと考えております。今年度も一層他職種との協働と連携を図り、地域で必要とされる職種を目指し努力していきますので、今後もよろしくお願いいたします。

公益社団法人 大分県作業療法協会

会長

高 森 聖 人

令和7年3月31日現在

I. 協会の現状（令和7年3月31日現在）

[正会員数] 1,169名（うち自宅会員101名、休会者42名）

[正会員所属施設] 246施設

[賛助会員] 5団体

[有識者理事] 6名

[支部] 9支部（大分中央、大分東、大分西、大分南、東部、西部、南部、北部、豊肥）

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

〈啓発・普及事業及び広報活動〉

- 作業療法フェスタ 2024 R6.10.27 来場者 200名
- 大分県保健医療団体協議会げんきフェア 2024 R6.11.3 来場者 100名
- 「リレー・フォー・ライフ・ジャパン大分 2024」への参加 R6.9.22～23 参加者 35名
- 「健康寿命日本一おおいた推進フォーラム」での作業療法ブースの設置
R6.9.29 来場者 200名
- 「大分大学開放イベント」での作業療法コーナー設置 R6.11.4 来場者 140名
- 作業療法ミニフェスタ
 - 日出町「城下カレイ祭り」 R6.5.12 参加者 250名
 - 竹田市「陽目の里こども源流祭」 R6.5.19 参加者 600名
 - 日田市「健康福祉まつり」 R6.10.13 参加者 170名
 - 大分市「春日まつり」 R6.11.17 参加者 250名
 - 宇佐市「USA クリスマスイベント」 R6.12.22 参加者 200名
- 広報誌『伝-DEN-』
 - No.34 テーマ「QOL（Quality of life）を高める作業療法」 R6.11.15 2,700部発行
- 「大分県のおしごと本」2024年度版への掲載 配布対象：県内小学5年生

〈研修会等〉

- 第27回大分県作業療法学会 107名
- 分野別研修会 3回 45名
- 新卒者研修会 32名
- 現職者共通研修 10回 106名
- 現職者選択研修（老年期障害／生活行為向上マネジメント） 2回 12名
- 生活行為向上マネジメント実践者研修／アドバンス研修／事例検討会 3回 106名
- 認知症作業療法実践研修 4回 69名
- 自動車運転支援に関する研修会 2回 56名

●令和6年度報酬改定に関する研修会		25名
●人材育成道場（地域ケア会議助言者編）		3名
●地域ケア会議新規助言者研修会		3名
●地域ケア会議助言者情報交換会		34名
●母子保健事業・放課後児童クラブ巡回支援事業派遣者情報交換会		15名
●作業療法座談会「語ろうえ」	2回	39名
●作業療法実地研修		21名
●足立信也大分市長講演会		70名
●支部研修会／事例検討会	8回	160名
●厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会	2回	73名
●大分県地域ケア会議アドバイザー強化初任者研修会	6回	（うち企画担当2回）
大分県地域ケア会議アドバイザー強化現任者研修会	6回	（うち企画担当2回）
（主催：大分県、大分県リハビリテーション専門職団体協議会）		

〈協議会等の委員、諸会議への出席〉

●大分県リハビリテーション協議会 委員	1回	
●大分県医療費適正化推進協議会 委員	1回	
●大分県高齢者福祉施策推進協議会 委員	2回	
●大分県在宅医療連携協議会 委員	2回	
●大分県精神疾患医療連携協議会 委員	1回	
●大分県医療・介護連携推進部会 委員	2回	
●大分県介護予防・地域づくり推進部会 委員	2回	
●大分県循環器病対策推進協議会・大分県脳卒中医療連携協議会 ・大分県心血管疾患医療連携協議会 委員	1回	
●おおいた心と体の職場環境改善アドバイザー養成企画検討会 委員	1回	
●日田市障がい者計画策定委員会 委員	1回	
●大分県リハビリテーション支援センター拡大運営会議への出席	1回	
●大分県健康寿命日本一おおいた創造会議への出席	1回	
●重層的支援体制の構築に向けたスーパーバイズ事業 スーパーバイザー連絡会への出席	2回	
●大分市自立支援型ケアプラン相談会における意見交換会への出席	2回	
●別府市地域ケア連携システム会議への出席	1回	
●大分災害リハビリテーション推進協議会（大分 JRAT）世話人会への出席	2回	
●大分県地域リハビリテーション研究会 役員会への出席	1回	

〈人材の推薦・派遣等〉

●おおいた心と体の職場環境改善アドバイザー事業への人材派遣	7回	4名
●事業所健康支援セミナーへの人材派遣	1回	1名
●合理的配慮推進事業に係る専門家チーム委員の派遣	9回	3名
●市町村地域ケア会議・重層的支援会議助言者の推薦・派遣〔16市町〕	199回	53名

●市町村介護認定審査会委員の推薦〔6市〕		19名
●市町村障害者介護給付費等認定審査会委員の推薦〔1市〕	6回	1名
●豊後高田市乳幼児精密検診事業／5歳児フォロー相談会 ／にこにこ教室（子育て教室）への人材派遣	9回	6名
●杵築市母子保健事業への人材派遣	12回	2名
●由布市健康応援団派遣事業への専門職派遣	7回	5名
●由布市親子教室（運動編）／子育て相談会への人材派遣	13回	4名
●別府市こどもの発達相談会への人材派遣	3回	1名
●竹田市5歳児フォロー相談会への人材派遣	6回	1名
●豊後大野市認知症初期集中支援チームへの人材派遣	12回	1名
●豊後大野市放課後児童クラブ巡回支援事業への人材派遣	11回	5名
●各種研修会等への講師等派遣〔14事業〕	19回	

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

- 少子高齢化と人口減少に伴うニーズの増大と多様化により、医療・介護・福祉のみならず、幅広い分野・領域において、さまざまな地域リハ活動が展開されつつあるが、リハビリテーション専門職の慢性的な不足と偏在等により、これらに携わることのできる人材の確保は容易ではなく、量・質ともに担保することが喫緊の課題である。
- 今後は、地域における包括的支援体制の構築に向けた取り組みが一層進むことを踏まえ、他職種（職能団体）や会員所属施設、県内養成校等との連携・協働による人材の育成と確保、ICT活用による各種事業の効率化と情報共有の促進等により、多様なニーズに対応できる作業療法士の専門性の深化を図っていく。

一般社団法人 大分県歯科医師会

会長

脇田 晴彦

令和7年3月31日現在

1. 会の現状

会員数：580名（令和7年4月現在）

地域福祉委員会が介護保険、高齢者・障がい者歯科保健、在宅歯科医療、医療連携の関連分野を担当している。

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

* 高齢者のよい歯のコンクール

口腔の衛生管理に努力し、80歳で20本以上自分の歯を保持している健康な方を表彰することで、口腔の健康の重要性を県民にアピールしている。令和6年度は優秀賞5名、優良賞7名を選出し表彰した。

* 歯科医師認知症対応力向上研修会の開催（令和6年9月28日・29日）

例年開催している歯科医師の認知症患者への対応力向上のための研修会で、医療法人明和会 佐藤病院 精神科 萩原 聡 先生、長崎大学病院 口腔管理センター 講師 黒木唯文 先生、長崎大学歯学部長 村田比呂司 先生の3名にご講演いただき、初の試みとしてアドバンス実習を行った。

* オーラルフレイル予防と多職種連携強化事業

令和4年度より実施している。大分県歯科衛生士会、大分県言語聴覚士協会、大分NST研究会との共同事業で、実行委員会の開催（5回）、医療介護連携冊子（退院ノート）の改訂、新たに「気づきノート」の作成を行った。

令和7年2月8日の研修会では、東京女子医科大学病院 リハビリテーション科 教授 若林秀隆 先生、一般社団法人 TOUCH/ 館村歯科クリニック 代表 館村 卓 先生のご講演いただいた。

* 障がい者歯科保健研修会の開催（令和6年11月30日）

令和6年度の研修会は、『障害者にも小児にも使える行動調整』という演題で昭和大学歯学部小児成育歯科学講座 教授 船津敬弘 先生にご講演いただいた。

* 後期高齢者医療広域連合歯科口腔健診（令和6年7月～令和6年12月）

76歳、78歳、81歳になる後期高齢者を対象として歯科健診を実施している。口腔機能の異常をRSST（反復唾液嚥下テスト）によりスクリーニングを行った。

* 障がい児者施設歯科健診事業（令和6年9月～令和7年3月）

障がい児者に対する歯科健診の機会を確保し、あわせて歯科保健指導を行うことにより障がい児

者の健康の保持増進に資することを目的として、令和6年度は障がい者施設等9件を訪問した。

*各種委員会、協議会、研修会への参加

・豊の国8020運動推進協議会等

3. 地域リハ活動における課題、今後の展開

①認知症対応力向上研修会を通し、認知症への理解と口腔機能低下症の客観的評価や口腔リハビリテーションについて歯科医師会会員だけでなく、多職種を対象とした研修会と実習を計画している。

②県内施設等での障がい者歯科健診を展開して、障がい者への口腔健康管理を進めていく。今後は出来るだけ、それぞれの地域の先生方に障害者歯科健診をして頂いて、地域の歯科医院で簡単な治療やメンテナンスを行えるように努力していく予定。

一般社団法人 大分県歯科衛生士会

会長

渡 邊 弘 美

令和7年3月31日現在

- I. 協会の現状 会員数 288名（令和7年3月31日現在）
 正会員 179名（名誉会員3名を含む） 学生会員109名
 4支部 県南地区（佐伯・津久見・臼杵）豊肥地区（竹田・豊後大野）西部地区
 北部地区

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

II-1 主催事業

開催日	テーマ	
	講師名	所属
2024/7/27	「どうする!!大分 ～大分県口腔保健センター受診患者さんのお口の状況から考える～」	
	藤瀬 多佳子	大分県口腔保健センター
		歯科医師
大分県地域ケア会議アドバイザー強化研修		
2024/7/19	「地域ケア会議で実践できるアドバイスをしよう！ ～自立支援ヘルパー実務マニュアル編～」	
	PT・OT・ST・管理栄養士・歯科衛生士	
2024/10/20	「摂食嚥下リハビリテーションにおける介入方法」	
	福岡 達之	広島国際大学
		総合リハビリテーション学部 准教授
2024/12/7	「薬剤関連顎骨壊死の管理と医歯薬連携について」	
	杉山 勝	宝塚医療大学保健医療学部 教授
	平井 英治	大分赤十字病院歯科口腔外科
2025/2/23	「あなたの歯科医院に障害のある患者さんが来院したら？」	
	梶 美奈子	北海道医療大学病院 歯科衛生部
		歯科衛生士長
歯科口腔保健推進事業		
2025/1/26	「患者に伝わる OHI」	
	下田 裕子	医療法人 水上歯科クリニック
		歯科衛生士

II-2 後援・協力研修会 【抜粋】

- ①大分県介護予防・地域づくり推進部会 8/8 1/14
 ②大分県医療・介護連携推進部会 10/2 2/28

- ③大分県地域リハビリテーション研究会、県リハ支援センター合同研修会 8/3
- ④大分地域リハビリテーション研究会研修会 3/9
- ⑤第34回35回おおいた食のリハビリテーション研究会研修会 7/28・3/16
- ⑥大分県保健医療団体協議会げんきフェア（担当会：大分歯科衛生士会） 11/3

II-3 講師等派遣【抜粋】

- ①地域包括ケアシステム推進事業（県内・県外）及び17市町村地域ケア会議助言者
- ②大分圏域介護予防事業及び口腔機能向上事業
- ③障がい児（者）施設含む県内市町村の母子事業及び地域支援事業
- ④大分県市町村圏域リハ職等派遣事業

II-4 会議出席【抜粋】

- ①地域リハビリテーション関係 役員会 運営委員会
- ②行政関係（県及び市町村）
 - 大分県 8020 運動推進協議会 大分県口腔機能向上栄養専門部会
 - 大分県介護予防市町村支援委員会 各市町村母子保健委員会 大分県災害歯科保健連絡協議会
 - 大分県介護医療推進協議会 各保健所地域歯科保健検討会 他

II-5 大分県歯科医師会（協力） 高齢者・障がい者訪問事業 啓発事業

- ①歯と口の健康週間行事 6/9
- ②大分市市民公開講座 12/8
- ③オーラルフレイル予防と多職種連携強化事業実行委員会 9/19
- ④大分県災害歯科保健医療協議会 第1回ワーキンググループ 10/12
- ⑤大分県歯科技工士会創立70周年記念事業シンポジウム 11/10
- ⑥大分県歯科医師会 歯科衛生士需給問題対策協議会
- ⑦大分県後期高齢者医療広域連合 歯科口腔相談事業（協力）

II-6 大分市内小中学校 歯科保健指導事業

- ①DVD作成及び視聴（対象者：小学校3年生・5年生・中学校1年生）
- ②小中学校訪問事業

II-7 ボランティア活動

- ①認知症カフェ関連 大分県歯科衛生士会主導「手をつなごう」（大分市田原）月1回程度
- ②西別府病院ボランティア（中止）
- ③「リレーフォーライフ・ジャパン大分2024」参加

III. 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

近年毎年大きな自然災害が発生する中、多職種と連携した災害研修を実施し災害コーディネーターを担える人材育成を整えていきたいと考えています。課題として、実態調査から歯科衛生士の地域偏差があり需要と必要数の分析などが十分行なっていない事があります。今後の取り組みでは、「口腔ケアステーション」事業の充実、日本歯科衛生士会と連携し災害時のネットワーク構築、専門職種として地域住民向け活動、口腔健康管理の重要性を伝えていければと考えています。

大分県視能訓練士会

会長

亀井久典

令和7年3月31日現在

1. 会の現状

会員数：正会員 58 名、準会員 133 名（令和7年4月30日現在）

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

〈他団体との共催・後援事業〉

- ・第21回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会
合同研修会

日 時：令和6年8月3日（土）13：00～16：30

場 所：大分県消費生活男女共同参画プラザアイネス大会議室/ZOOM

テーマ：災害とりハビリテーション～地域のレジリエンスを高めるために～
スタッフとして参加

- ・世界網膜の日in大分

日 時：令和6年9月28日（土）10：00～15：00

場 所：ピーコンプラザ

内 容：実行委員、ガイドボランティア

- ・大分県保健医療団体協議会研修会

日 時：令和6年10月20日（日）10：00～13：00

場 所：J：COMホルトホール大分/ZOOM

講 演：摂食嚥下リハビリテーションにおける介入方法

- ・大分大学医療機器ニーズ探索交流会

日 時：令和6年10月31日（木）13：00～16：30

場 所：レンブラントホテル大分

テーマ：医療DX

演題1題発表

- ・センターまつり&げんきフェア2024

日 時：令和6年11月3日（日）10：00～15：00

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

内 容：眼の健康チェック、パネル展示

- ・「はじめての視力検査」動画配信

内 容：3歳5か月児健康診査の一次健診に活用

当会ホームページやyoutubeでも視聴可能

〈主催の研修会〉

・第39回九州視機能研究会

日 時：令和6年6月30日（日）

場 所：大分県労働福祉会館ソレイユ

参加者：204名

・第23回勉強会

日 時：令和6年8月25日（日）

場 所：ホルトホール大分302会議室

内 容：「小児の眼疾患と視機能」大木玲子 先生（永富脳神経外科病院 眼科部長）

参加者：49名

・第24回勉強会

日 時：令和6年12月14日（土）～12月31日（火）

場 所：オンデマンド配信

内 容：「間歇性外斜視の視能訓練」

富山園子 先生（視能訓練士）

視聴回数：154回

・第25回勉強会

日 時：令和7年2月9日（日）

場 所：コンパルホール400会議室

内 容：「ぶどう膜炎の診断と治療」 武田篤信 先生（大分大学）

「RDH12変異網膜色素変性症に対する皮膚電極ERGの使用経験」

松永建司 先生（西田病院）

「当院における斜視問診の実態調査」梶原光貴 先生（大分大学）

「私の職場について」 藤田 華 先生（西田病院）

「私の職場について」 長谷実夏 先生（八重眼科）

参加者：40名

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

今年度の活動としては、大分県網膜色素変性症協会と連携し、「世界網膜の日 in 大分」に関わらせていただきました。医療、福祉、教育を担う団体が参加し、当会は実行委員やガイドボランティアとしてイベントの成功に尽力しました。昨年度から視覚障がい者団体との連携、社会貢献活動を行うことを目標としており、目標を達成できたことは評価できると思いますが来年度以降継続して行えるよう活動してまいりたいと思います。

また、災害時における対策をマニュアル化し、非常時に対応できるよう準備を進めたいと考えております。

引き続き行政および各職能団体の皆様と連携を深め活動をしてまいりたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会

会長

雨宮 洋子

令和7年3月31日現在

1. 会の現状

会員センター	53センター
・地域包括支援センター	50センター
・在宅介護支援センター	1センター
・地域総合相談支援センター	2センター

2. 主な活動・取り組み

(1)研修会等の開催

令和6年度大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター研修会
[社会貢献活動推進協議会との共催]

日時 令和6年6月20日(金) 14:40～16:00

会場 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

内容 「重層的支援体制整備事業を通して見えてきた地域課題へのアプローチ
～多職種連携による伴走型支援、地域づくりとは～」

講師 半田市社会福祉協議会 事務局次長 前山憲一氏

参加者 26名

(2)ブロック活動

各市町村ブロック組織の活動支援並びに組織強化を目的として、1センターあたり
5,000円の活動費を助成。

3. 情報提供

他機関が実施する各種研修会への参加案内

4. 関係機関・団体との連携

(1)県内関係機関・団体との連携

県内関係機関・団体の会議等への出席

県内関係機関・団体の研修会等へ後援

(2)県との協調・支援

県及び各市町村高齢者福祉担当課あて研修会への参加要請

(3)全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会との協調・支援

①組織活動助成事業の申請

②メールや電話等による動向把握、連絡調整

大分県地域リハビリテーション研究会

会長

武居光雄

令和7年3月31日現在

I. 会の現状

- 会長：武居光雄
- 副会長：大場喜弘、渡邊弘美
- 幹事：各団体より代表者1名
- 監事：中芝高彦、高畑智浩
- 顧問：針 秀太、原田禎二
- 所属団体：15団体

大分県地域リハ医師懇話会	(公社)大分県理学療法士協会	(公社)大分県作業療法協会
(公社)大分県言語聴覚士協会	(公社)大分県看護協会	(公社)大分県薬剤師会
(公社)大分県栄養士会	(公社)大分県放射線技師会	(公社)大分県臨床検査技師会
(公社)大分県臨床工学技士会	(一社)大分県歯科衛生士会	(一社)大分県介護福祉士会
(一社)大分県公認心理師協会	大分県介護支援専門員協会	大分県視能訓練士協会

II. 地域リハ活動の報告

①第21回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会の開催

日時：令和6年8月3日(土)

会場：大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス大会議室

参加者：89名(会場参加66名、WEB参加23名) ※WEB配信でのハイブリット開催

テーマ：「災害リハビリテーション ～地域のレジリエンスを高めるために～」

➤大分県からの報告(令和6年度の事業計画)

報告者：大分県福祉保健部高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 杉田苑美氏

➤講演①：「災害リハビリテーションの課題と展望

～令和6年能登半島地震でのJRAT活動より～

講師：(一社)日本災害リハビリテーション支援協会(JRAT)代表理事

(一社)是真会 理事長 栗原正記氏

司会：大分県リハビリテーション支援センター センター長 針 秀太氏

➤講演②：大分県内災害医療支援チームの報告

「県内発災時のレジリエンスを高めるために今できること」

報告①：日本医師会災害医療チーム(JMAT)

三愛訪問看護ステーション 看護師 銭花洋子氏

報告②：大分県薬剤師会 常務理事 伊藤裕子氏

報告③：大分災害リハビリテーション推進協議会(大分JRAT)

佐藤第一病院 理学療法士 中 翔一郎氏

報告④：大分県災害医療コーディネーター

大分大学医学部附属病院 副院長 医療情報部 教授 下村 剛氏

報告⑤：大分県福祉保健部健康対策・感染症対策課 課長 池邊淑子氏

司会：大分県地域リハビリテーション研究会 運営部長 井野邊純一

②令和6年度大分県地域リハビリテーション研究会研修会の開催

日時：令和7年3月9日（日）

会場：大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス 2F 大会議室

参加者：81名（会場参加53名、WEB参加23名） ※WEB配信でのハイブリット開催

テーマ：「大規模災害時における大分県の取り組み ～医療従事者の立場から～」

▶ 講演①：「大規模災害時の多職種連携による保健医療福祉支援」

演者：大分大学医学部附属病院 災害マネジメント総合支援センター
センター長 下村 剛氏

司会：大分県地域リハビリテーション研究会 会長 武居光雄

▶ 講演②：「新たな災害支援ナースの仕組みと養成等について」

演者：公益社団法人 大分県看護協会 第二副会長 加来理香氏

▶ 講演③：「大分県薬剤師会における災害対策の取り組み」

演者：公益社団法人 大分県薬剤師会 災害対策委員会 委員長 谷池仁志氏

司会：大分県地域リハビリテーション研究会 事務局長 平岡 賢

③名義後援

▶ 九州作業療法学会 2024 in 大分（令和6年6月22日・23日）

▶ 第42回大分県病院学会（令和6年9月29日）

④運営部会の開催

▶ 第1回：令和6年7月22日（月）（WEB開催）

⑤役員会の開催

▶ 第36回：令和6年6月11日（火）（WEB開催）

III. 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

今年度、当会では3月9日に「大規模災害時における大分県の取り組み ～医療従事者の立場から～」をテーマに令和6年度大分県地域リハビリテーション研究会研修会を開催いたしました。研修会では大分大学医学部附属病院の下村剛先生をはじめ、大分県看護協会、大分県薬剤師会からそれぞれの立場で大分県での活動の現状や課題などをお話いただきました。大規模災害発災時に備え、様々な団体が迅速な対応が可能となるよう準備を行っていますが、発災時に各団体がいかに連携して災害支援をはじめとした活動を行うことが可能となるようネットワークの構築が重要と感じました。

当会は、大分県内の医療や介護、福祉に関わる15の職能団体からなる研究会です。障害や疾患を持つ方々が地域社会の中でできるだけ自立した生活を送れるよう、また長期的に継続可能な支援体制をはじめ地域の特性や資源を最大限に活用できるよう今後も大分県内の医療・介護・福祉に携わる関係団体が連携できるよう活動を継続していきます。

一般社団法人 大分県病院協会

会長

山本 記 顯

令和7年3月31日現在

I. 協会の現状

1. 病院協会の現状 (R7.3.31 現在)

(1) 会員数 121 病院

(2) 構成

- ・ 会 長 長松宜哉 (佐賀関病院)
- ・ 副会長 曾根 勝 (曾根病院)
- ・ 副会長 内田明宏 (内田病院)
- ・ 地区毎の理事、及び所属病院数
 - 大分 (所属病院数 46) 理事 長松宜哉、武居光雄、井野邊純一、帆秋善生、末友 仁、立川洋一
 - 別杵 (所属病院数 22) 理事 内田明宏、松川 秀
 - 県北 (所属病院数 21) 理事 佐藤仁一、瀧上 茂、川寫眞之
 - 久大 (所属病院数 18) 理事 山下太郎、石井聡大
 - 豊肥 (所属病院数 4) 理事 首藤 治
 - 県南 (所属病院数 10) 理事 曾根 勝、小寺隆三
- ・ 監 事 畑 洋一、河田俊一郎
- ・ 名誉会長 川寫真人
- ・ 参 与 小寺 隆

2. 活動の重点項目

- 1) 会員間の親睦と連携の推進
- 2) 医の倫理の遵守
- 3) 病院機能評価への対応
- 4) 地域医療介護総合確保基金利用の推進
- 5) 病院職員の技術向上を目指す研修会の開催
- 6) 医療安全の再構築
- 7) 第 42 回大分県病院学会の開催

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

A. 病院協会の活動報告

1. 令和6年度一般社団法人大分県病院協会 定時社員総会

- ・ 開催日時 令和6年6月1日 (土) 午後3時
- ・ 場 所 レンブラントホテル大分 二豊の間 (大分市田室町9-20)

2. 理事会 計6回開催
3. 第42回大分県病院学会 実行委員会 計2回開催
第42回大分県病院学会 運営委員会 計8回開催
4. 第42回大分県病院学会
 - ・学会テーマ 「為すものは常に成り行うものは常に至る」 ～新しい世界に挑戦しよう～
 - ・場 所 ビーコンプラザ（別府市山の手町）
 - ・参加人員（概数） 計1,734名
 - ・特別講演 「地域共生社会と病院の役割」
 - ・シンポジウム 「地域包括ケアシステムのさらなる深化」
 - ・分科会 演題総数 143題
5. 名義後援
 - ・公益社団法人大分県老人保健施設協会
 - ・大分県医療ソーシャルワーカー協会
 - ・大分県作業療法協会 他

B. 部会（コメディカル部門）の活動報告

1. 事務部会
 - 研修会 計1回開催
2. 看護部会
 - 研修会 計1回開催、委員会 計3回開催
3. 栄養部会
 - 研修会 計3回開催、委員会 計6回開催
4. 社会福祉部会
 - 研修会 計1回開催、委員会 計3回開催

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

医療を取り巻く環境は年々厳しくなっていますが、大分県病院協会は所属する会員病院と共に一丸となって取り組んでいます。県内津々浦々に存在する会員施設が、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、地域包括ケア推進のための支援とサービス提供体制構築を目指しています。

公益社団法人 大分県放射線技師会

会長

吉田 幸人

令和7年3月31日現在

I 本会の現状

会員：422名（2025年3月末現在） 役員：理事13名、監事3名

本会は放射線に関する知識の普及啓発及び診療放射線学の向上発達を図るとともに県民の健康福祉の向上に寄与することを目的とし、県民への正しい放射線の知識の普及と啓発、放射線の管理及び障害防止の調査研究、診療放射線学の向上に関する研究及び指導、地域保健医療及び公衆衛生事業の推進と協力、放射線災害時に対応できる放射線測定技術者育成のための放射線量測定等を事業の柱として活動を行っている。

2024年度は概ね事業計画とおりに活動できた。今期の最大の特徴は、我々の公益事業に日本文理大学保健医療学部の在学生在が多数参加いただいたことである。一般市民を対象とした「げんきフェア」（大分県保健医療団体協議会との協働）や「レントゲン週間イベント」では、放射線診療における医療被ばくの説明など、専門的知識をもとに丁寧に説明した。放射線災害を想定したサーベイメータの取扱い訓練では、学生が積極的に参加し、機器の正しい取り扱いを習得した。これらの活動を通して、職能団体としてのPRが行なえたことは本会にとっても大変有難く、また参画した学生にとっては、自身の目指す職業が地域社会へ貢献できることを、体験を通じて理解できたのではないかと感じている。2025年度以降もこの活動を継続して取り組んでいきたい。その他会員向けの学術イベント等については、本会が所有するアカウントを管理・運営することにより、主催・共催事業のほぼ全てを対面／ハイブリッドにて開催した。医師の働き方改革、タスクシェア／シフトを見据えた法・省令改正に伴う「告示研修」について大分県下で7回開催した。

II 地域リハビリテーション活動の報告（本会事業報告）

1. 会誌「大分放射線」の発行

季刊として4回（第135号（5月1日）、第136号（7月31日）、第137号（10月29日）、第138号（令和6年1月30日））を発行した。また発行した機関誌は大分県立図書館、県内医療機関、医療保健福祉に関係する諸団体に寄贈した。

2. 大分県放射線技師会学術大会（主催）

1) 第36回学術大会（ハイブリッド開催） 参加者：60名

日 時：令和6年8月25日（日）14時30分から、テーマ：「心臓」

講演 I：「当院における心臓エコーの役割」

社会医療法人関愛会大東よつば病院 医療技術課長 植木雅博 氏

「初回心臓カテーテル検査とフォローアップ」

大分市医師会立アルメイダ病院 放射線部 柴山遥樹 氏

「術前・術後の心臓CTについて」

社会医療法人三愛会大分三愛メディカルセンター 放射線技術部課長 北里隆文 氏

講演Ⅱ：「心臓手術での臨床工学技士の役割と画像の活用」

講 師：大分大学医学部附属病院 医療技術部 臨床工学・歯科部門
副臨床工学技士長 中田正悟 先生

特別講演：「低侵襲心大血管手術と画像診断の重要性」

講 師：社会医療法人敬和会大分岡病院 心血管センター長
心臓血管外科部長 迫 秀則 先生

2)第 37 回学術大会（ハイブリッド開催）参加者：74 名

日 時：令和 7 年 2 月 15 日（土）15 時から、テーマ：「STAT 画像報告」

講演Ⅰ：「当院での取り組みと STAT 画像報告導入を目指して」

社会医療法人敬和会大分リハビリテーション病院 医療技術部
放射線課 係長 甲斐秀明 氏

「当院における STAT 画像報告の取り組み」

大分赤十字病院 放射線科部 係長 中島浩二 氏

特別講演：「STAT 画像報告 実践編」

講 師：日本診療放射線技師会 STAT 画像報告委員会 委員長 小暮陽介 先生

シンポジウム：「どげーしようか STAT 画像報告」

3)第 12 回臨床技術セミナー（九州乳腺画像研究会とコラボレーション開催）参加者：会員 73 名

日 時：令和 6 年 11 月 16 日（土）13 時 30 分から

テーマ：「マンモグラフィ 気になる！となりのポジショニング&施設認定」

講義Ⅰ：「ポジショニングの着地点 検査をおえるときに考えたいこと」

講 師：北九州市立医療センター 村上典子 先生

その他：グループ講習、装置・Viewer 紹介、症例カンファレンスと解説

3. 放射線量測定事業

1)令和 6 年度は延べ 45 施設（149 管球）について放射線管理区域漏洩線量測定報告書の作成を行うとともに、測定医療施設の診療放射線技師または職員に放射線量測定について指導した。

2)放射線管理関連研修活動として第 1 回日本診療放射線技師学術大会への委員派遣を行った。

3)放射線被ばく相談を開設しており、令和 6 年度は 3 件の相談実績があり、相談員 3 名が対応した。

4. レントゲン週間イベント（主催）

10 月 27 日（日）、大分県立図書館で開催した。同日は日本文理大学保健医療学部の学生 4 名がイベントに加わって頂き、診療放射線技師職のアピール、超音波による骨密度測定等を企画した。一般市民の参加者は 73 名（骨密度測定者でのカウント数）であった。

5. げんきフェア（共催）

大分県保健医療団体協議会（以下、医団協）参加加盟団体と共に開催に向け準備を進め、11 月 3 日（日・祝）に開催した。レントゲン週間イベントと同じく、日本文理大学保健医療学部の学生 4 名が協力していただいた。各職能団体の展示ブースに本会も参加し、一般市民との交流を通じながら正しい放射線知識の啓発活動に従事した。本会ブース来場者は 256 名であった。

6. 訪問授業（主催）

今年度は、藤華医療専門学校看護科 3 年生（令和 7 年 1 月 29 日（水））、臼杵市立浜小学校 6 年生（令和 7 年 3 月 14 日（金））にて実施し、正しい放射線知識の啓発活動に寄与した。

その他、主催事業、共催事業の内容は割愛する。

Ⅲ 地域リハ活動における課題と今後の取り組み

1. リハビリ機能評価と画像情報の関連について他職種と連携し、有益な検査方法を検討する
2. 骨密度測定を行う立場から転倒予防教室等や医療チームなどの活動に積極的に参画する
3. 読影補助による専門性を生かした他職種への情報提供を行う
4. 伊方原発事故でのサーベイ活動をはじめ、大規模自然災害時に他職種と連携し、支援を行うことができる日本診療放射線技師会認定の「災害支援認定診療放射線技師」の認定取得を推進する
5. ワイヤレス X 線撮影装置、ノート型 US 装置を利用した在宅・往診検査の推進
6. 学校訪問授業や公開イベントを通じて県民へ正しい放射線の知識の普及を図る事業を行う
7. 患者に対する放射線検査説明、被ばく相談に対応するため、日本診療放射線技師会認定の「被ばく相談員」の認定取得を推進する
8. 告示研修の県内開催を積極的に実施し、他職種負担軽減に向けた取り組みを強化する

公益社団法人 大分県薬剤師会

会長

中 芝 高 彦

令和7年3月31日現在

1. 会の現状 会員数 1,515名

当会は、在宅訪問や地域ケア会議において多職種とより良い連携体制の構築を目的とした研修の開催や、多職種との会議に積極的に参加するなど活動を行いました。また、大分県の委託事業である薬剤師認知症対応力向上研修会や健康サポート薬局取得のための研修などを通じて会員に情報提供を行いました。

地域包括ケアシステムの一員として、「将来目指すべき薬剤師・薬局の姿」の実現、次世代の薬剤師の育成等取り組み、薬剤師が職能を最大限に発揮して、県民の健康の維持・増進に一層、寄与することを目的に以下の取り組みを行いました。

2. 地域リハ活動の報告

①地域ケア会議への参画

令和6年度地域ケア会議 薬剤師派遣

②かかりつけ薬剤師・薬局の推進

かかりつけ薬剤師・薬局の推進のため必要な知識や技術の習得を目的とした研修をおこなった。

③多職種連携による薬局の在宅医療の取り組み

地域の医療・介護の専門機関と連携し、在宅医療に必要な知識や技術の習得を目的とした研修をおこなった。

○在宅研修会

日 時：令和6年12月3日（火）

場 所：県薬会館3階研修ホール Web（Zoom）併用

講 師：株式会社ライフリー 代表取締役 佐藤孝臣 氏

演 題：多職種が在宅医療において薬剤師に求めること

④健康サポート薬局の推進（県内健康サポート薬局件数：28薬局）

かかりつけ薬剤師・薬局の基本的な機能に加え、国民による主体的な健康の保持増進を積極的に支援する（健康サポート）機能を備えた薬局に必要な知識を習得することを目的とした研修をおこなった。

○健康サポート薬局

日 時：令和6年7月14日（日）

令和7年1月19日（日）

場 所：大分県薬剤師会館3階 研修ホール

内 容：医療・保健・健康・介護・福祉等の資源と役割の現状
健康サポート薬局の役割を発揮するための各職種・機関との連携に関する演習
薬局利用者の状態把握と販売時と販売後の対応に関する演習
講 師：大分県栄養士会 濱田美紀 先生
城崎法律事務所 河野善一郎 氏
大分県福祉保健部健康増進室 吉津 聡 氏
大分県医療福祉委員会 児玉 淳 長野曲来
今戸英夫 川口敏弘 麻生裕規雄

⑤薬剤師認知症対応力向上研修会の開催

薬剤師が認知症の疑いのある人に早期に気づき、かかりつけ医等と連携するため、基本知識や医療・介護との連携の重要性を習得することを目的とした研修をおこなった。

○令和6年度薬剤師認知症対応力向上研修会

薬剤師認知症対応力向上研修会

日 時：令和7年3月2日（日）

場 所：県薬会館3階研修ホール Web（Zoom）併用

講 師：杉谷診療所 院長 井上雅公 先生

県福祉保健部高齢者福祉課地域包括ケア推進班 主査 大津瑠璃 氏

大分県薬剤師会 理事 菊池幸助

3. 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

令和7年は、地域包括ケアシステムの構築目標年とされています。住み慣れた地域で、住まい・医療・介護・予防・生活支援のサービスが一体的に提供されるシステムの中で、薬剤師・薬局にはかかりつけとしての機能とともに他職種との連携が求められています。

地域の薬剤師・薬局がその役割を果たすには、個々の薬剤師・薬局の活動に加え、地域住民が医薬品提供サービスを確実に受けることができる環境を作ることが重要です。その上でより広域での医薬品提供体制を構築し、さらに地域薬剤師会で解決困難な課題に取り組んでいきます。

公益社団法人 大分県理学療法士協会

会長

市川 泰朗

令和7年3月31日現在

I. 会の状況（2025.3.31時点）

- [1] 会員数：1,665人
- [2] 支部構成：6ブロック（大分、別府速見、県北、県南、久大、豊肥）

II. 地域リハ関係の活動

[1] 地域医療、地域保健及び社会福祉への協力に関する事業

1. 運動器検診への派遣、講和（中学校）
2. ブロック別啓発事業（健康相談・健康指導・毎日自宅でできる運動の紹介他）
3. 各競技団体におけるトレーナーサポート、メディカルチェック
4. ウイメンズヘルス研修会の開催
5. 日本理学療法士協会 高齢労働者の就労支援に関するモデル事業への参加協力
6. 日本理学療法士協会 全国パラスポーツ関連担当者会議へパネリストとして参加協力
7. 認定スクールトレーナー制度の普及促進

[2] 行政等他組織の事業への協力・支援

1. 介護認定審査会への認定委員会、障がい者介護給付費等認定審査会への派遣協力
2. 地域ケア会議及び自立支援型ケアプラン相談会等への専門職種派遣協力
3. 社会福祉施設経営指導事業への派遣協力
4. チーム大分ジュニアアスリート発掘事業 プロジェクトへの協力
5. 別府市制百周年事業への参加、協力
6. 健康経営おうえんプロジェクトへの協力
7. 大分県介護予防・地域づくり推進部会への参加協力
8. 大分県社会福祉介護研修センター 福祉用具専門部会への参加、審査協力
9. 別府市地域ケア連携システム会議への参加
10. 東九州メディカルバレー構想推進大会への参加
11. 大分市自立支援型ケアプラン相談会への参加・協力
12. 大分市ホームヘルプステーション 介護技術研修への講師派遣
13. 健康体操における講師の派遣
14. 地域ケア会議コーディネーター養成研修会（初任者）への講師派遣
15. 大分県地域包括ケア広域支援員派遣事業への協力
16. こころとからだのセルフケアセミナーへの講師派遣
17. 介護予防職員育成推進事業への講師派遣
18. 地域づくりによる介護予防推進事業における指導者派遣事業 体力測定

19. 大分市介護予防リーダー研修会への協力
20. 草の根技術協力（ペルーの障がい児スポーツ指導・エンドライン現地調査、マニュアル作成）

[3] 理学療法の知識の普及・啓発に関する事業

1. 大分県理学療法士協会広報誌“志”第18号・19号の発行・発送（計4,600部／県民、会員施設、会員外、県内中学校・高等学校、県内教育事務所、県内18市町村の公民館へ送付）
2. 理学療法週間イベント（健康年齢チェック、健康相談、パネル展示、進路相談）
3. 高校生対象病院・施設見学
4. メルマガ管理運営、SNS（Facebook、Instagram）の運用
5. 県内理学療法施設マップの運用
6. 大分県保健医療団体協議会主催「げんきフェア」への協力（子供向け運動器チェック他）

[4] 地域リハビリテーションの理解と実行に向けた事業

1. 地域ケア会議推進リーダー育成研修、介護予防推進リーダー育成研修の開催
2. 介護予防推進リーダーのキャリアアップ・スキルアップ事業 地域通いの場の実地見学会の開催
3. 大分県リハビリテーション専門職団体協議会への派遣、研修会運営
4. ノーリフティング・ケア研修会の開催
5. 多職種協働促進研修会の開催
6. 介護現場支援研修会の開催
7. 先進施設見学ツアーの開催
8. 県学会特設ブース「介護現場の困りごと相談ブース」の設置

Ⅲ. 地域リハの活動における課題・今後の取り組み

令和6年度の当会の新規事業としては、九重町における介護予防事業の講師派遣や体力測定、大分市の高齢者サロンにおけるフレイル予防の運動指導、介護事業所における職員向け技術研修会の講師派遣、別府市の温泉効能トラッキング事業への協力（施設入所者へのADL評価）、豊後大野市のスポーツレクリエーションやウォーキング大会におけるストレッチや運動指導、保護者や選手を対象としたスポーツ少年団のストレッチ教室などが挙げられる。また前年度からの継続事業として、別府市ゆめタウンにおけるCKDの啓発イベントやビーコンプラザでの予防講座における体力測定、豊後高田市のオレンジカフェの企画・支援、佐伯市リレーマラソンでのスポーツ傷害予防事業や日田市、玖珠町、九重町での通いの場立ち上げ支援事業を行った。地域の健康イベント10か所で当会が出展した健康相談・体力測定コーナーには合計850名の県民に会場いただき、多くのイベントでコロナ前の来場者数を上回るようになってきた。

関係機関や団体等からの講師派遣依頼は一層増加傾向にあり、その対象も高齢者だけでなく若年層への関わりが増えてきている。今後も引き続き行政や多職種と連携が取れる人材を育成し、スピード感が求められる地域事業に対しても地元の多くの担い手で着手できる体制を構築していきたいと考える。

公益社団法人 大分県臨床検査技師会

会長

丸山 晃 二

令和7年3月31日現在

1) 当会の状況

会員数 906 名（前年度 902 名）である。学術・職能団体活動の活動として、学術部・企画部・組織部が主体となり様々な活動を行っている。

学術部は、輸血・細胞治療部門、臨床生理部門、生物化学分析部門、染色体・遺伝子部門、臨床微生物部門、臨床血液部門、臨床一般部門、病理細胞部門、臨床検査総合部門の 9 部門が定期的に研修会を実施している。各部門研修会は集合開催されることが多くなったが、WEB の利便性を活かした開催を要望する声も多い現状である。最大のイベントである大分県臨床検査学会は、会場の雰囲気味わっていただきたく現地開催とした。参加者はハイブリッドで開催した昨年度を上回る結果となり盛会であった。次年度も現地開催を第一選択とするが状況に応じた運用を検討する。

組織部は、施設間・会員間の情報交換・情報共有を行うことを活動主体としており、大分県を県南豊肥地区・大分地区・別杵地区・県北地区・県西地区の 5 ブロックに分け地区ごとに研修会を開催している。地区合同講演会は各地区持ち回りで開催しており、今期は県南・豊肥地区（大野市）にて開催した。タスクシフト／シェアについての講演の他、シンポジウム形式で 4 施設の技師より自施設でのタスクシフト／シェアへの取り組みを報告していただき、活発な討論が行われ盛会であった。

企画部は、市町村や他団体が実施している健康イベントなどに協力し、臨床検査技師の業務内容や職域を知っていただく事（公益事業の開催・協力）に力を注いでおり、各活動において健康チェックや検査相談などを行い、広く県民の皆さまとの交流を深めている。

各部における研修会等においては、今後でもできるだけ広い会場をお借りし、会員にとって安心・安全な活動を展開する。今後も学会・研修会・意見交換会などを通じて、会員同士の縦・横のつながりを広げていきたい。

2) 地域リハ関連の活動・取組

- ① 日本臨床衛生検査技師会の委託公益事業である全国「検査と健康展」を、11 月 23 日（祝土）にあげのアクロスホールで開催し、一般市民 40 名がブースを訪れ健康チェックを実施し盛会であった。
- ② リレーフォーライフ in 大分 2024 は、令和 5 年 9 月 22 日（日）～ 23 日（振休）大分スポーツ公園「大芝生広場」において開催され、チーム名を「検査 de みつけ隊」として参加した。血管年齢、簡易 Hb 濃度、体成分検査を実施し 107 名（前回 148 名）が受検された。
- ③ 大分県保険医療団体協議会（11 団体）で開催する“げんきフェア”が、令和 6 年 11 月 3 日（日）に大分介護福祉研修センターにて開催された。
- ④ 大分県医師会・大分県臨床検査技師会合同での精度管理調査を 7 月に実施し、12 月ハイブリッドにて報告会を開催した。大分県どこの施設で検査しても同じ結果が得られることを目的としてデータ標準化にも取り組んでいる。

⑤ タスクシフト／シェア実技講習会は第7回を終了し、令和7年8月31日に第8回を開催予定としている。

⑥ 各学術部門研修会は41回（前年度40回）開催した。総参加者数：1,756名（前年度1,657名）で増加傾向である。

⑦ 学会・その他

地区合同講演会：R7年11月2日（土）豊後大野市 ホテルますの井 参加者：65名

学術合同講演会：R7年1月18日（日）レンブラントホテル大分 参加者：60名

第54回大分県臨床検査学会：R7年2月9日（日）別府市ビーコンプラザ 参加者：135名

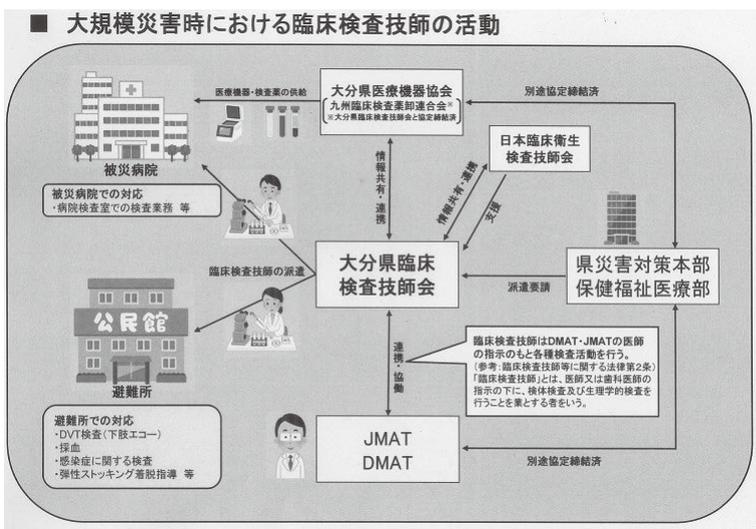
今回は会場の臨場感を肌で感じていただきたく現地参集型として。ハイブリッドで開催した前年度（127名）よりも参加者は多く盛会であった。

3) 地域リハ活動における課題・今後の展開

① タスク・シフト／シェア（医療法改正により臨床検査技師が実施できるようになる主たる行為）10の行為については、全国的に進んでいない現状であり（約2割程度）、今後もチームの一員としての臨床検査技師の立ち位置を考え、できることから積極的に取り組んでいかなければならない。

② 大分県との災害協定について

何時くるか分からない大災害に備えて、当会では九州臨床検査薬卸連合との災害協定を締結し、更には大分県との災害協定を締結すべく県に申し入れをしている。避難所等において新型コロナ、インフルエンザ、ノロウイルス等が疑われる患者からの検体採取と各種抗原検査はもとより、災害関連死を未然に防ぐためには、下肢静脈エコー検査やPOCT機器を使用するのDダイマー検査等は必須であり、それらを担う臨床検査技師の役割は非常に大きいと考える。また大分県との協定締結後には、定期的な災害対策研修会を開催し、下肢静脈エコー検査や弾性ストッキング着脱の実習講習、加えて医療機器メーカーに協力をお願いし、日頃は使用しないPOCT機器を持ち込んでの説明会を行う予定としている。



公益社団法人 大分県臨床工学技士会

理事長

小 川 一

令和7年3月31日現在

会の現状 会員数 379名（令和7年3月31日）

令和6年度の主な活動と取り組み

I. 大分県臨床工学会に関する事

第16回大分県臨床工学会の開催

令和6年12月8日（日）会場：別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza

大会長 阿部豪介（公益社団法人大分県臨床工学技士会理事）

一般演題：19演題、市民公開講座：1講演、ランチョンシンポジウム：1セッション

大会長招聘講演：2講演

参加者：120名

II. 臨床工学技士の啓発活動に関する事

第16回公益社団法人大分県臨床工学会市民公開講座の開催

令和6年12月8日（日）会場：別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza

市民公開講座 医療関連産業参入促進セミナー

演題：「旭化成ゾールの紹介と今後期待されるゾール・メディカル社の医療機器製品」

講師：旭化成株式会社 顧問 姫野 毅 先生

III. 学術技能に関する事

(1)学術セミナーの開催

令和6年6月29日（土）会場：厚生連鶴見病院南館5F 会議室

周術期セミナー 参加者 42名

令和6年9月21日（土）会場：レゾナックドーム大分会議室

人工呼吸器セミナー 参加者 37名

(2)大分人工透析研究会支援参加協力

令和6年10月12日（土）第44回大分人工透析研究会に座長推薦、参加協力

一般演題座長 阿部豪介 理事

審査員 小川 一 理事長、大石義英 監事

大分人工透析研究会幹事会への出席 小川 一 理事長

(3)令和6年度大分大学医療機器ニーズ探索交流会への協力

令和6年10月31日（木）会場：レンブラントホテル大分

阿部理事 発表 小川 一 理事長、大石義英 監事 出席

(4) HCV Seminar および大分県肝炎医療コーディネーター養成研修への参加協力
肝炎医療コーディネーター研修会への出席
令和6年10月29日(火)肝炎医療コーディネータースキルアップ研修会
パネルディスカッションのコメントーターとして、小川 一 理事長 出席

(5)医療機器評価ラボへの参加協力

令和7年2月27日(木) メディバレーおおいた(大分市西大道2-3-8)
タイセイエンター株式会社
電気集塵式空気殺菌消臭装置「HiViGOR(ハイビガー)」TM-2400の評価

IV. 関連団体との交流に関する事

各医療関係団体と交流を図り、県民への公益事業を行う。災害対策に対するマニュアル等を作成し、大分県・大分県医師会・大分人工透析研究会・大分県腎臓病協議会等と密接な連携を図り、災害に備えることを目的とする。

1. 各医療関係団体と交流を図り県民への公益事業を行う。

(1)大分県地域リハビリテーション研究会

- ・令和6年6月11日 第36回大分県地域リハビリテーション研究会役員会(WEB)
- ・令和6年8月3日 第21回合同研修会(アイネス大会議室・WEB)
「災害とリハビリテーション～地域のレジリエンスを高めるために～」

(2)大分県医療保険団体協議会

- ・令和6年5月29日
令和6年度第1回大分県保健医療団体協議会理事会(大分県立病院・WEB)
- ・令和6年10月20日
令和6年度大分県保健医療団体協議会研修会(ホルトホール大分・WEB)
「摂食嚥下リハビリテーションにおける介入方法」
- ・令和6年10月18日
令和6年度第2回大分県保健医療団体協議会理事会(大分県立病院・WEB)
- ・令和6年11月3日 げんきフェア2024(大分県社会福祉介護研修センター)

(3)医工連携

東九州メディカルバレー構想推進大会へ出席

日時：令和7年2月13日(木)ホテル日航大分 小川 一 理事長、田邊裕司 副理事長

(4)その他

- ・令和6年6月23日(日)大分県腎臓病協議会第46回定期総会へ小川 一 理事長出席
- ・令和6年11月24日(日)大分大学医学部臓器移植医療連携強化事業教授
安藤忠助先生 就任記念祝賀会へ小川 一 理事長出席
- ・令和7年2月18日(火) 令和6年度大分県医療ロボット産業協議会第2回理事会へ
小川 一 理事長出席 県庁舎本館
- ・令和7年2月12日(水)大分県肝炎対策協議会令和6年度肝炎ウイルス検査受検率向上及び
受診へ円滑につなげる方策の確立に資する研究班研修会へ小川 一 理事長出席
- ・令和7年3月8日(土) 日本文理大学医療専門学校卒業式及び閉校式式典へ

- 小川 一 理事長出席
- ・令和7年3月22日（土）大分大学医学部附属病院三股浩光病院長退任記念祝賀会へ
- 小川 一 理事長出席

V. 地域リハ活動

大分県地域リハビリテーション研究会

- ・令和6年6月11日第36回大分県地域リハビリテーション研究会役員会（WEB）
- ・令和6年8月3日第21回合同研修会（男女共同参画プラザアイネス大会議室・WEB）
「災害とりハビリテーション～地域のレジリエンスを高めるために～」

VI. 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

これまでと同様に研修会への参加・運営を通じて地域リハ活動の有用性を広めていきたい。また、公益社団法人大分県臨床工学技士会として在宅医療や介護施設で使用される医療機器（人工呼吸器、腹膜透析機器等）に関する研修会を開催し大分県地域リハビリテーション研究会に参加協力を要請したい。

連絡先一覧

1. 大分県リハビリテーション支援センター 地域リハビリテーション広域支援センター

大分県リハビリテーション支援センター（県リハ支援センター）

独立行政法人 地域医療機能推進機構 湯布院病院 （旧：湯布院厚生年金病院） 〒 879-5193 由布市湯布院町川南 252 TEL (0977-84-3171)

大分県地域リハビリテーション広域支援センター

圏域	地域	施設名	所在地	TEL/FAX
東部	東国東	国東市民病院	873-0431 国東市安岐町大字下原 1456	0978-67-1211 0978-67-3190
	別杵速見	農協共済別府リハビリテーションセンター	874-8611 別府市鶴見 1026-10	0977-67-1711 0977-67-1712
中部	大分	井野辺病院	870-0021 大分市大字中尾字平 255 番地	097-586-5522 097-586-5656
		大分リハビリテーション病院	870-0105 大分市大字志村字谷ヶ迫 765 番地	097-503-5000 097-503-5888
	臼津	臼杵市医師会コスモス病院	875-0051 臼杵市戸室字長谷 1131-1	0972-62-5599 0972-62-3928
南部	佐伯	長門記念病院	876-0835 佐伯市鶴岡町 1-11-59	0972-24-3000 0972-23-6640
豊肥	大野	社会医療法人 婦巖会 みえ病院	879-7111 豊後大野市三重町赤嶺 1250-1	0974-22-2222 0974-22-0222
	竹田	大久保病院	878-0204 竹田市久住町栢木 6026-2	0974-77-2341 0974-77-2247
西部	日田・玖珠	大分県済生会日田病院	877-1233 日田市三和 643-7	0973-24-1100 0973-22-1269
北部	中津	川瀧整形外科病院	871-0012 中津市宮夫 14-1	0979-24-0464 0979-24-6258
	宇佐・高田	佐藤第一病院	879-0454 宇佐市法鏡寺 77-1	0978-32-2110 0978-33-4918

2. 県内地域リハビリテーション専門職能団体（拡大運営会議構成団体）

（五十音順）

団体名	住 所	TEL	FAX
大分県医療ソーシャルワーカー協会	879-2401 津久見市大字千怒 6011 番地 津久見中央病院 事務部	0972-62-5599	0972-62-3928
大分県栄養士会	870-0912 大分市原新町 9-2	097-556-8810	097-556-8921
大分県介護支援専門員協会	870-1132 大分市光吉 1139-1 首藤ハイツII-101	097-504-7500	097-504-7501
大分県介護福祉士会	870-0921 大分市萩原 4-8-58 大分県整骨会館 3F	097-551-6555	097-547-9936
大分県看護協会	870-0855 大分市大字豊饒 310 番地の 4	097-574-7117	
大分県言語聴覚士協会	870-0048 大分市碩田町 1-1-27 3 階	097-529-7105	097-529-8109
大分県公認心理師協会 (大分県臨床心理士会)	874-8501 大分市長浜町 1 丁目 7-3 サンライズ長浜 401 号室	0977-67-0101	
大分県作業療法協会	870-0038 大分市西春日町 3-2 大分県作業療法協会ビル	097-547-8662	097-547-8663
大分県歯科医師会	870-0819 大分市王子新町 6-1	097-545-3151	097-545-3155
大分県歯科衛生士会	870-0819 大分市王子新町 6-1 大分県歯科医師館内	097-545-3203	097-545-3203
大分県視能訓練士会	874-0935 別府市駅前町 5-5 高木眼科医院内	0977-23-1230	0977-23-1299
大分県地域包括・総合相談・ 在宅介護支援センター協議会	870-0907 大分市大津町 2-1-41	097-558-0319	097-558-6001
大分県地域リハビリテーション医師懇話会	870-0862 大分市中尾字平 255	097-586-5522	097-586-5656
大分県地域リハビリテーション研究会	870-1121 大分市大字鷺野 118 番地の 1 諏訪の杜病院内	0570-071277	
大分県病院協会	870-8563 大分市大字駄原 2892-1 大分県医師会館 5 階	097-540-5526	097-540-5597
大分県放射線技師会	879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘 1 丁目 1 番地 大分大学医学部附属病院 医療技術部放射線部門内	097-586-6020	097-586-6029
大分県薬剤師会	870-0855 大分市豊饒字光屋 441-1	097-544-4405	097-544-1051
大分県理学療法士協会	870-0855 大分市豊饒 3-4-1	097-507-9845	097-507-4317
大分県臨床検査技師会	870-1121 大分市鷺野字坂津免 1184 番 8	080-1768-1221	097-502-4964
大分県臨床工学技士会	870-0023 大分市長浜町 2 丁目 7-22 ((株)マイダスコミュニケーション内)	097-579-6565	097-579-6569

※介護保険サービス事業所の連絡先は県庁ホームページの「介護保険指定事業一覧」から検索ください。

※地域包括支援センター一覧表は大分県庁ホームページより検索ください。

大分県庁ホームページ
www.pref.oita.jp

地域リハビリテーション 活動報告書(令和6年度版)

発行日 令和7年10月10日

発行責任者 大分県リハビリテーション支援センター
センター長 針 秀太

編集 事務長 齊藤 篤志
県リハ運営部長 迫頭 友美
運営部事務長兼運営部長補佐 佐藤 友美
会議企画班 菅 雅史

由布市湯布院町川南 252
JCHO 湯布院病院内
TEL 0977-84-3171

発行日 令和7年10月10日
発行責任者 大分県リハビリテーション支援センター
センター長……………針 秀太

編集 事務長……………齊藤 篤志
県リハ運営部長……………迫頭 友美
運営部事務長兼運営部長補佐……………佐藤 友美
会議企画班……………菅 雅史

由布市湯布院町川南252 JCHO湯布院病院内 TEL:0977-84-3171